

2020年3月期第2四半期
(中間期) 決算説明資料

株式会社 四 国 銀 行

《2020年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料》

		頁
1. 2020年3月期第2四半期（中間期）決算の概況	2
(1) 損益状況	単	2
	連	3
(2) 業務純益	単	4
(3) 利鞘	単	4
(4) 有価証券関係損益	単	4
(5) 有価証券の評価損益	単・連	5
① 有価証券の評価基準	単・連	5
② 評価損益	単・連	5
(6) 自己資本比率（国内基準）	単・連	6
(7) ROE	単	6
2. 貸出金等の状況	7
(1) リスク管理債権の状況	単・連	7
(2) リスク管理債権の保全状況	単	7
(3) 貸倒引当金の状況	単・連	8
(4) 金融再生法開示債権	単	8
(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況	単	8
《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況		
	単	9
(6) 業種別貸出状況等	単	10
① 業種別貸出金	単	10
② 業種別リスク管理債権	単	10
③ 個人ローン残高	単	11
④ 中小企業等貸出金	単	11
3. 預金等・貸出金・預り資産残高	11
(1) 預金等・貸出金の残高	単	11
(2) 個人・法人等別預金残高	単	11
(3) 預り資産残高	単	12
① 総額	単	12
② 個人	単	12
4. 通期業績予想	単・連	12

《補足資料》

2019年度中間決算の概要

1. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

(1) 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		2019年中間期		2018年中間期
			2018年中間期比	
業 務 粗 利 益	1	15,274	△ 1,310	16,584
(コア業務粗利益) (注) 1	2	14,597	△ 2,278	16,875
資 金 利 益	3	12,635	△ 2,582	15,217
役 務 取 引 等 利 益	4	1,946	213	1,733
そ の 他 業 務 利 益	5	692	1,058	△ 366
う ち 債 券 関 係 損 益	6	677	968	△ 291
経 費 (除く臨時処理分) (△)	7	12,028	△ 169	12,197
人 件 費 (△)	8	5,672	△ 105	5,777
物 件 費 (△)	9	5,617	△ 67	5,684
税 金 (△)	10	738	3	735
実 質 業 務 純 益 (注) 2	11	3,246	△ 1,140	4,386
(コア業務純益) (注) 3	12	2,569	△ 2,108	4,677
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	2,493	△ 709	3,202
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	14	547	803	△ 256
業 務 純 益	15	2,699	△ 1,944	4,643
臨 時 損 益	16	1,692	325	1,367
不 良 債 権 処 理 額 (△)	17	87	△ 216	303
貸 出 金 償 却 (△)	18	96	68	28
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	19	△ 32	△ 289	257
そ の 他 (△)	20	23	6	17
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	21	—	—	—
償 却 債 権 取 立 益	22	932	669	263
株 式 等 関 係 損 益	23	506	△ 532	1,038
そ の 他 臨 時 損 益	24	341	△ 27	368
経 常 利 益	25	4,391	△ 1,619	6,010
特 別 損 益	26	△ 62	△ 30	△ 32
固 定 資 産 処 分 損 益	27	△ 22	△ 24	2
固 定 資 産 処 分 益	28	—	△ 9	9
固 定 資 産 処 分 損 (△)	29	22	16	6
減 損 損 失 (△)	30	39	4	35
税 引 前 中 間 純 利 益	31	4,329	△ 1,648	5,977
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 (△)	32	768	△ 260	1,028
法 人 税 等 調 整 額 (△)	33	152	△ 409	561
法 人 税 等 合 計 (△)	34	920	△ 669	1,589
中 間 純 利 益	35	3,408	△ 979	4,387
与 信 関 係 費 用 (注) 4	36	635	588	47
実 質 与 信 関 係 費 用 (注) 5	37	△ 297	△ 81	△ 216

(注) 1 (2)コア業務粗利益=(1)業務粗利益-(6)債券関係損益

(注) 2 (11)実質業務純益=(1)業務粗利益-(7)経費(除く臨時処理分)

(注) 3 (12)コア業務純益=(11)実質業務純益-(6)債券関係損益

(注) 4 (36)与信関係費用=(14)一般貸倒引当金繰入額+(17)不良債権処理額-(21)貸倒引当金戻入益

(注) 5 (37)実質与信関係費用=(36)与信関係費用-(22)償却債権取立益

【連結】

＜連結損益計算書ベース＞

(単位：百万円)

		2019年中間期		2018年中間期
				2018年中間期比
連結粗利益(注)1	1	15,416	△ 994	16,410
資金利益	2	12,366	△ 2,274	14,640
役員取引等利益	3	2,357	221	2,136
その他業務利益	4	692	1,058	△ 366
営業経費(△)	5	12,118	△ 249	12,367
与信関係費用(△)	6	781	578	203
貸出金償却(△)	7	99	64	35
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	103	△ 291	394
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	554	798	△ 244
その他の不良債権処理額(△)	10	23	6	17
貸倒引当金戻入益	11	—	—	—
償却債権取立益	12	932	669	263
株式等関係損益	13	506	△ 532	1,038
持分法による投資利益	14	36	△ 39	75
その他	15	369	△ 99	468
経常利益	16	4,361	△ 1,325	5,686
特別損益	17	△ 62	△ 30	△ 32
税金等調整前中間純利益	18	4,299	△ 1,355	5,654
法人税、住民税及び事業税(△)	19	854	△ 280	1,134
法人税等調整額(△)	20	141	△ 380	521
法人税等合計(△)	21	995	△ 661	1,656
中間純利益	22	3,303	△ 694	3,997
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	23	1	1	△ 0
親会社株主に帰属する中間純利益	24	3,302	△ 695	3,997
実質与信関係費用(注)2	25	△ 151	△ 91	△ 60

(注) 1 (1)連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(注) 2 (25)実質与信関係費用 = (6)与信関係費用 - (12)償却債権取立益

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	4	—	4
持分法適用会社数	1	—	1

(2) 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2019年中間期		2018年中間期
		2018年中間期比	
実質業務純益	3,246	△ 1,140	4,386
職員一人当たり (千円)	2,342	△ 804	3,146
業務純益	2,699	△ 1,944	4,643
職員一人当たり (千円)	1,947	△ 1,383	3,330

(3) 利鞘【単体】

<全店>

(単位：%)

	2019年中間期		2018年中間期
		2018年中間期比	
資金運用利回 (A)	1.00	△ 0.20	1.20
貸出金利回	1.12	△ 0.08	1.20
有価証券利回	1.08	△ 0.36	1.44
資金調達原価 (B)	0.93	△ 0.02	0.95
預金等利回	0.02	0.00	0.02
外部負債利回	0.69	0.21	0.48
総資金利鞘 (A) - (B)	0.07	△ 0.18	0.25

<国内>

(単位：%)

	2019年中間期		2018年中間期
		2018年中間期比	
資金運用利回 (A)	0.87	△ 0.19	1.06
貸出金利回	1.08	△ 0.09	1.17
有価証券利回	0.88	△ 0.46	1.34
資金調達原価 (B)	0.89	△ 0.03	0.92
預金等利回	0.01	△ 0.01	0.02
外部負債利回	0.05	△ 0.06	0.11
総資金利鞘 (A) - (B)	△ 0.02	△ 0.16	0.14

(4) 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2019年中間期		2018年中間期
		2018年中間期比	
債券関係損益	677	968	△ 291
売却益	820	177	643
償還益	—	—	—
売却損	58	△ 628	686
償還損	38	△ 169	207
償却	46	7	39
株式等関係損益	506	△ 532	1,038
売却益	1,208	128	1,080
売却損	84	42	42
償却	617	617	—

(5) 有価証券の評価損益

① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

② 評価損益

(単位：百万円)

【単体】	2019年9月末					2019年3月末			2018年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2019年3月末比	2018年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	39,702	4,002	2,455	43,876	4,173	35,700	38,851	3,150	37,247	41,240	3,993
株式	13,350	△ 2,124	△ 11,770	16,941	3,590	15,474	17,992	2,518	25,120	26,509	1,388
債券	12,928	1,243	5,947	13,129	200	11,685	11,861	176	6,981	7,781	799
その他	13,422	4,882	8,278	13,805	382	8,540	8,996	455	5,144	6,949	1,805
合計	39,702	4,002	2,455	43,876	4,173	35,700	38,851	3,150	37,247	41,240	3,993
株式	13,350	△ 2,124	△ 11,770	16,941	3,590	15,474	17,992	2,518	25,120	26,509	1,388
債券	12,928	1,243	5,947	13,129	200	11,685	11,861	176	6,981	7,781	799
その他	13,422	4,882	8,278	13,805	382	8,540	8,996	455	5,144	6,949	1,805

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2019年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、27,635百万円であります。

(単位：百万円)

【連結】	2019年9月末					2019年3月末			2018年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2019年3月末比	2018年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	40,425	4,043	2,538	44,598	4,173	36,382	39,533	3,150	37,887	41,881	3,993
株式	14,073	△ 2,083	△ 11,688	17,663	3,590	16,156	18,675	2,518	25,761	27,149	1,388
債券	12,928	1,243	5,947	13,129	200	11,685	11,861	176	6,981	7,781	799
その他	13,422	4,882	8,278	13,805	382	8,540	8,996	455	5,144	6,949	1,805
合計	40,425	4,043	2,538	44,598	4,173	36,382	39,533	3,150	37,887	41,881	3,993
株式	14,073	△ 2,083	△ 11,688	17,663	3,590	16,156	18,675	2,518	25,761	27,149	1,388
債券	12,928	1,243	5,947	13,129	200	11,685	11,861	176	6,981	7,781	799
その他	13,422	4,882	8,278	13,805	382	8,540	8,996	455	5,144	6,949	1,805

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2019年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、28,054百万円であります。

(6) 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	9.25%	0.16%	△ 0.28%	9.09%
② 自己資本の額	131,779	2,778	2,200	129,001
③ リスク・アセットの額	1,423,227	5,243	64,594	1,417,984
④ 総所要自己資本額	56,929	210	2,584	56,719

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

【連結】

(単位：百万円)

	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	9.58%	0.15%	△ 0.29%	9.43%
② 自己資本の額	137,250	2,620	2,310	134,630
③ リスク・アセットの額	1,432,330	5,300	65,233	1,427,030
④ 総所要自己資本額	57,293	212	2,610	57,081

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

(7) ROE 【単体】

(単位：%)

	2019年中間期		2018年度	2018年中間期
	2018年度比	2018年中間期比		
実質業務純益ベース	4.43	△ 1.24	△ 1.63	5.67
業務純益ベース	3.69	△ 2.08	△ 2.73	5.77
中間(当期)純利益ベース	4.66	0.22	△ 1.40	4.44

(注) 1. (実質)業務純益ベース

$$\frac{\text{(実質)業務純益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[\frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

2. 中間(当期)純利益ベース

$$\frac{\text{中間(当期)純利益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[\frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

※ 自己資本=純資産の部合計-新株予約権

2. 貸出金等の状況

(1) リスク管理債権の状況

(部分直接償却実施後)

【単体】

(単位：百万円)

		2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
			2019年3月末比			2018年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	285	122	28	163	257
	延滞債権	34,364	△ 601	△ 1,083	34,965	35,447
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,387	△ 154	11	3,541	3,376
	合計	38,037	△ 633	△ 1,044	38,670	39,081

貸出金残高(末残)	1,754,248	△ 19,405	59,322	1,773,653	1,694,926
-----------	-----------	----------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01
	延滞債権	1.95	△ 0.02	△ 0.14	1.97	2.09
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.00	0.00	0.19	0.19
	合計	2.16	△ 0.02	△ 0.14	2.18	2.30

【連結】

(単位：百万円)

		2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
			2019年3月末比			2018年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	616	151	88	465	528
	延滞債権	34,593	△ 608	△ 1,060	35,201	35,653
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,387	△ 154	11	3,541	3,376
	合計	38,597	△ 611	△ 961	39,208	39,558

貸出金残高(末残)	1,754,808	△ 19,384	59,405	1,774,192	1,695,403
-----------	-----------	----------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.03	0.01	0.00	0.02	0.03
	延滞債権	1.97	△ 0.01	△ 0.13	1.98	2.10
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.00	0.00	0.19	0.19
	合計	2.19	△ 0.01	△ 0.14	2.20	2.33

(2) リスク管理債権の保全状況【単体】

(単位：百万円、%)

	2019年9月末	2019年3月末		2019年3月末	2018年9月末
			2018年9月末比		
リスク管理債権額	38,037	△ 633	△ 1,044	38,670	39,081
貸倒引当金	7,717	△ 534	24	8,251	7,693
担保保証等	24,502	△ 290	△ 1,796	24,792	26,298
貸倒引当金引当率	20.28	△ 1.05	0.60	21.33	19.68
保全率	84.70	△ 0.74	△ 2.27	85.44	86.97

(3) 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
貸倒引当金	18,339	80	737	18,259	17,602
一般貸倒引当金	10,900	548	661	10,352	10,239
個別貸倒引当金	7,439	△ 467	77	7,906	7,362

【連結】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
貸倒引当金	19,145	129	814	19,016	18,331
一般貸倒引当金	11,070	555	668	10,515	10,402
個別貸倒引当金	8,075	△ 426	147	8,501	7,928

(4) 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
金融再生法開示債権					
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,640	178	372	5,462	5,268
危険債権	29,189	△ 720	△ 1,478	29,909	30,667
要管理債権	3,387	△ 154	11	3,541	3,376
小計 (A)	38,217	△ 695	△ 1,095	38,912	39,312
正常債権	1,749,535	△ 17,883	64,521	1,767,418	1,685,014
合計	1,787,752	△ 18,579	63,425	1,806,331	1,724,327

(単位：%)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
構成比					
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.31	0.01	0.01	0.30	0.30
危険債権	1.63	△ 0.02	△ 0.14	1.65	1.77
要管理債権	0.18	△ 0.01	△ 0.01	0.19	0.19
小計	2.13	△ 0.02	△ 0.14	2.15	2.27
正常債権	97.86	0.02	0.14	97.84	97.72

(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
保全額 (B)	32,399	△ 763	△ 1,723	33,162	34,122
貸倒引当金	7,810	△ 441	94	8,251	7,716
担保保証等	24,589	△ 322	△ 1,816	24,911	26,405

(単位：%)

保全率 (B) / (A)	84.77	△ 0.45	△ 2.02	85.22	86.79
---------------	-------	--------	--------	-------	-------

《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

自己査定		金融再生法開示債権			リスク管理債権	
債務者区分 与信残高		区分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引当金 保全額合計(B)	保全率 (B)/(A)	区分 貸出金残高(貸出金比率)	
破綻先債権 285		破産更生債権及び これらに準ずる債権 5,640(0.31%)	4,058	100.00%	破綻先債権 285(0.01%)	
実質破綻先債権 5,354			1,581			
			5,640			
破綻懸念先債権 29,189		危険債権 29,189(1.63%)	19,431	86.49%	延滞債権 34,364(1.95%)	
			5,815			
			25,247			
要注意先債権 135,475	要管理先債権 4,108	要管理債権 3,387(0.18%)	1,098	44.61%	3カ月以上延滞債権 -()	
			412			
			1,511			
		[小計] 38,217(2.13%)	24,589	84.77%	貸出条件緩和債権 3,387(0.19%)	
		7,810				
		32,399				
	その他要注意先債権 131,367	正常債権 1,749,535			[合計] 38,037(2.16%)	
正常先債権 1,617,447						
総与信残高 1,787,752		総与信残高 1,787,752		貸出金残高 1,754,248		

(注) 総与信残高には、自行保証付私募債(時価)を含めて記載しております。

(6) 業種別貸出状況等【単体】

① 業種別貸出金

(単位：百万円)

業種別	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
	2019年3月末比	2018年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	1,754,248	△ 19,405	59,322	1,773,653	1,694,926
製造業	191,468	△ 7,105	△ 7,367	198,573	198,835
農業、林業	2,159	△ 106	△ 57	2,265	2,216
漁業	1,942	△ 151	△ 96	2,093	2,038
鉱業、採石業、砂利採取業	3,048	779	1,048	2,269	2,000
建設業	45,075	△ 2,526	19	47,601	45,056
電気・ガス・熱供給・水道業	49,748	△ 82	2,227	49,830	47,521
情報通信業	12,226	△ 1,660	△ 869	13,886	13,095
運輸業、郵便業	40,429	△ 1,127	325	41,556	40,104
卸売業	89,645	△ 3,834	△ 70	93,479	89,715
小売業	96,060	△ 5,410	△ 7,020	101,470	103,080
金融業、保険業	32,862	536	△ 862	32,326	33,724
不動産業	240,939	534	2,334	240,405	238,605
物品賃貸業	43,725	△ 1,114	1,907	44,839	41,818
学術研究、専門・技術サービス業	6,346	△ 218	601	6,564	5,745
宿泊業	8,027	38	440	7,989	7,587
飲食業	9,667	△ 361	50	10,028	9,617
生活関連サービス業、娯楽業	28,081	380	1,458	27,701	26,623
教育、学習支援業	23,751	7,297	11,105	16,454	12,646
医療・福祉	103,904	△ 2,380	△ 3,420	106,284	107,324
その他のサービス	27,806	△ 3,121	453	30,927	27,353
地方公共団体	273,032	△ 14,421	21,273	287,453	251,759
その他	424,297	14,644	35,843	409,653	388,454

② 業種別リスク管理債権

(単位：百万円)

業種別	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末	
	2019年3月末比	2018年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	38,037	△ 633	△ 1,044	38,670	39,081
製造業	7,200	1,362	2,234	5,838	4,966
農業、林業	138	△ 8	25	146	113
漁業	234	△ 66	△ 79	300	313
鉱業、採石業、砂利採取業	1,370	△ 14	△ 74	1,384	1,444
建設業	2,633	△ 36	73	2,669	2,560
電気・ガス・熱供給・水道業	4	4	△ 13	—	17
情報通信業	147	△ 12	△ 72	159	219
運輸業、郵便業	294	△ 156	△ 106	450	400
卸売業	3,752	△ 558	△ 648	4,310	4,400
小売業	6,481	893	1,427	5,588	5,054
金融業、保険業	41	△ 8	△ 7	49	48
不動産業	3,919	△ 259	△ 2,049	4,178	5,968
物品賃貸業	171	△ 11	△ 22	182	193
学術研究、専門・技術サービス業	151	△ 43	△ 67	194	218
宿泊業	1,040	△ 21	△ 29	1,061	1,069
飲食業	1,021	△ 128	△ 91	1,149	1,112
生活関連サービス業、娯楽業	2,189	△ 64	△ 44	2,253	2,233
教育、学習支援業	144	△ 3	2	147	142
医療・福祉	2,708	△ 94	△ 37	2,802	2,745
その他のサービス	1,847	△ 16	△ 125	1,863	1,972
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	2,545	△ 1,394	△ 1,339	3,939	3,884

③ 個人ローン残高

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
住 宅 ロ ー ン	308,730	6,326	18,124	302,404	290,606
そ の 他 ロ ー ン	31,180	△ 253	△ 806	31,433	31,986
合 計	339,911	6,073	17,318	333,838	322,593

④ 中小企業等貸出金

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
中小企業等貸出金	1,188,757	△ 3,406	37,342	1,192,163	1,151,415
うち中小企業向け貸出金	842,647	△ 9,782	20,157	852,429	822,490

3. 預金等・貸出金・預り資産残高

(1) 預金等・貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
預 金 等 (末 残)	2,639,229	△ 84,849	△ 87,257	2,724,078	2,726,486
(平 残)	2,684,293	27,077	3,510	2,657,216	2,680,783
貸 出 金 (末 残)	1,754,248	△ 19,405	59,322	1,773,653	1,694,926
(平 残)	1,759,786	69,675	87,449	1,690,111	1,672,337

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(2) 個人・法人等別預金残高【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
個 人 (末 残)	1,752,754	△ 2,014	△ 7,871	1,754,768	1,760,625
法 人 等 (末 残)	850,577	△ 38,265	△ 6,528	888,842	857,105
合 計	2,603,331	△ 40,279	△ 14,399	2,643,610	2,617,730

(注) 譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は、含んでおりません。

(3) 預り資産残高 【単体】

① 総額

(単位：百万円)

	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比		
預り資産残高	260,412	△ 1,781	486	262,193
公 共 債	17,645	△ 1,059	△ 847	18,704
投 資 信 託	51,911	△ 1,614	△ 4,261	53,525
個人年金保険等	190,855	892	5,594	189,963

② 個人

(単位：百万円)

	2019年9月末		2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比		
個人預り資産残高	252,817	△ 1,298	1,154	254,115
公 共 債	12,120	△ 615	△ 270	12,735
投 資 信 託	49,841	△ 1,575	△ 4,170	51,416
個人年金保険等	190,855	892	5,594	189,963

4. 通期業績予想

【単体】

(単位：百万円、%)

	2019年度 予想	2018年度比		2018年度 実績
		2018年度比	増減率	
経 常 収 益	39,300	△ 6,139	△ 13.51	45,439
経 常 利 益	5,100	△ 4,473	△ 46.72	9,573
当 期 純 利 益	4,000	△ 2,364	△ 37.14	6,364

【連結】

(単位：百万円、%)

	2019年度 予想	2018年度比		2018年度 実績
		2018年度比	増減率	
経 常 収 益	39,300	△ 5,927	△ 13.10	45,227
経 常 利 益	5,300	△ 4,286	△ 44.71	9,586
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	4,000	△ 2,221	△ 35.70	6,221

株式会社四国銀行

2019年度中間決算の概要

目次

当行単体の数値について概要を説明したものです。

数値については、億円未満を切り捨てて（一部百万円未満を切り捨て）表示しております。

説明文の増減につきましては、億円未満を切り捨てて記載しております。

1.	2019年度中間期損益の概況	3
2.	資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）	4
3.	資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）	5
4.	役務取引等利益	
	（1）内訳	6
	（2）預り資産関係手数料、法人ソリューション収益	7
5.	経費及び経営効率	8
6.	与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益	9
7.	総預金及び個人預り資産残高	10
8.	貸出金残高及び個人ローン残高	11
9.	有価証券残高・評価損益	12
10.	自己資本比率	13
11.	不良債権の状況	14
12.	2019年度業績予想	15
13.	2019年度の取組み（4月～9月）	
	お客さまへの取組み	16
	地方創生への取組み	16
	デジタルを活用したコンサルティングの強化	16
	四国アライアンスの取組み	17

1. 2019年度中間期損益の概況

実質業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益は増加し経費も減少しましたが、資金利益が減少し、前年同期比11億円減少の32億円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金の増加により、前年同期比19億円減少の26億円となりました。臨時損益は、株式等関係損益は減少しましたが、不良債権処理額の減少や償却債権取立益の増加等により、前年同期比3億円増加の16億円となりました。これらの結果、経常利益は、前年同期比16億円減少の43億円、中間純利益は、同9億円減少の34億円となりました。

		(百万円)		
		2018年度中間期	2019年度中間期	前年同期比
経常収益		22,455	21,051	△ 1,404
業務粗利益		16,584	15,274	△ 1,310
コア業務粗利益		16,875	14,597	△ 2,278
資金利益		15,217	12,635	△ 2,582
役務取引等利益		1,733	1,946	213
その他業務利益		△ 366	692	1,058
国債等債券関係損益		△ 291	677	968
経費	△	12,197	12,028	△ 169
人件費	△	5,777	5,672	△ 105
物件費	△	5,684	5,617	△ 67
税金	△	735	738	3
実質業務純益		4,386	3,246	△ 1,140
コア業務純益		4,677	2,569	△ 2,108
コア業務純益（投資信託解約損益除く）		3,202	2,493	△ 709
一般貸倒引当金繰入額	△	△ 256	547	803
業務純益		4,643	2,699	△ 1,944
臨時損益		1,367	1,692	325
不良債権処理額	△	303	87	△ 216
貸倒引当金戻入益		-	-	-
償却債権取立益		263	932	669
株式等関係損益		1,038	506	△ 532
その他		368	341	△ 27
経常利益		6,010	4,391	△ 1,619
特別損益		△ 32	△ 62	△ 30
税引前中間純利益		5,977	4,329	△ 1,648
法人税等合計	△	1,589	920	△ 669
中間純利益		4,387	3,408	△ 979

マイナス金利の環境の下、再投資抑制により残高が減少したことに加え、投資信託解約益が減少し、有価証券利息配当金が大きく減少しました。

個人ローンに関する費用は増加しましたが、ビジネスコンサルティングの機能強化により、法人ソリューション収益が増加しました。

前年同期は含み損銘柄の入替売買を行いました。

人件費や物件費が減少し、経費全体でも減少しました。

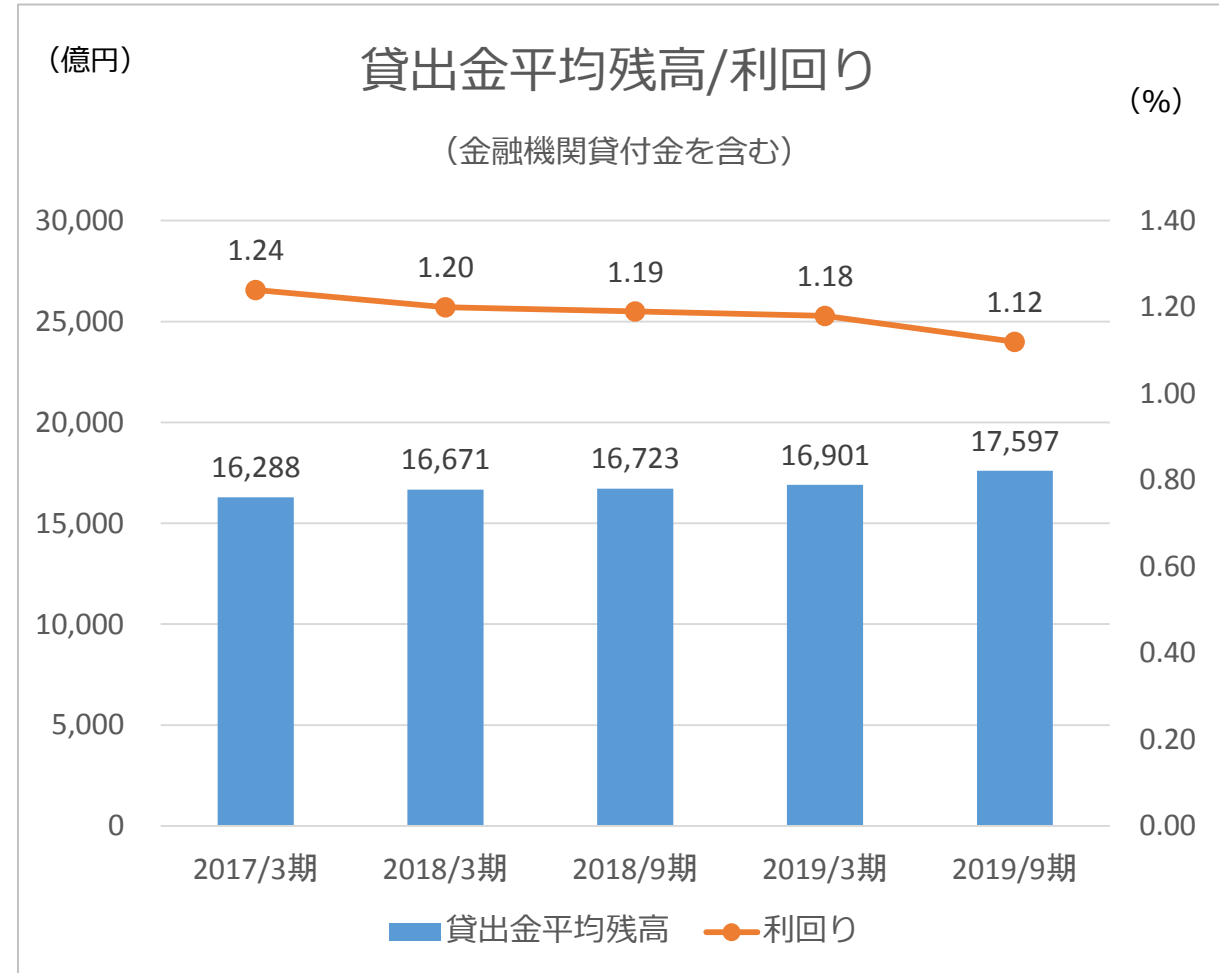
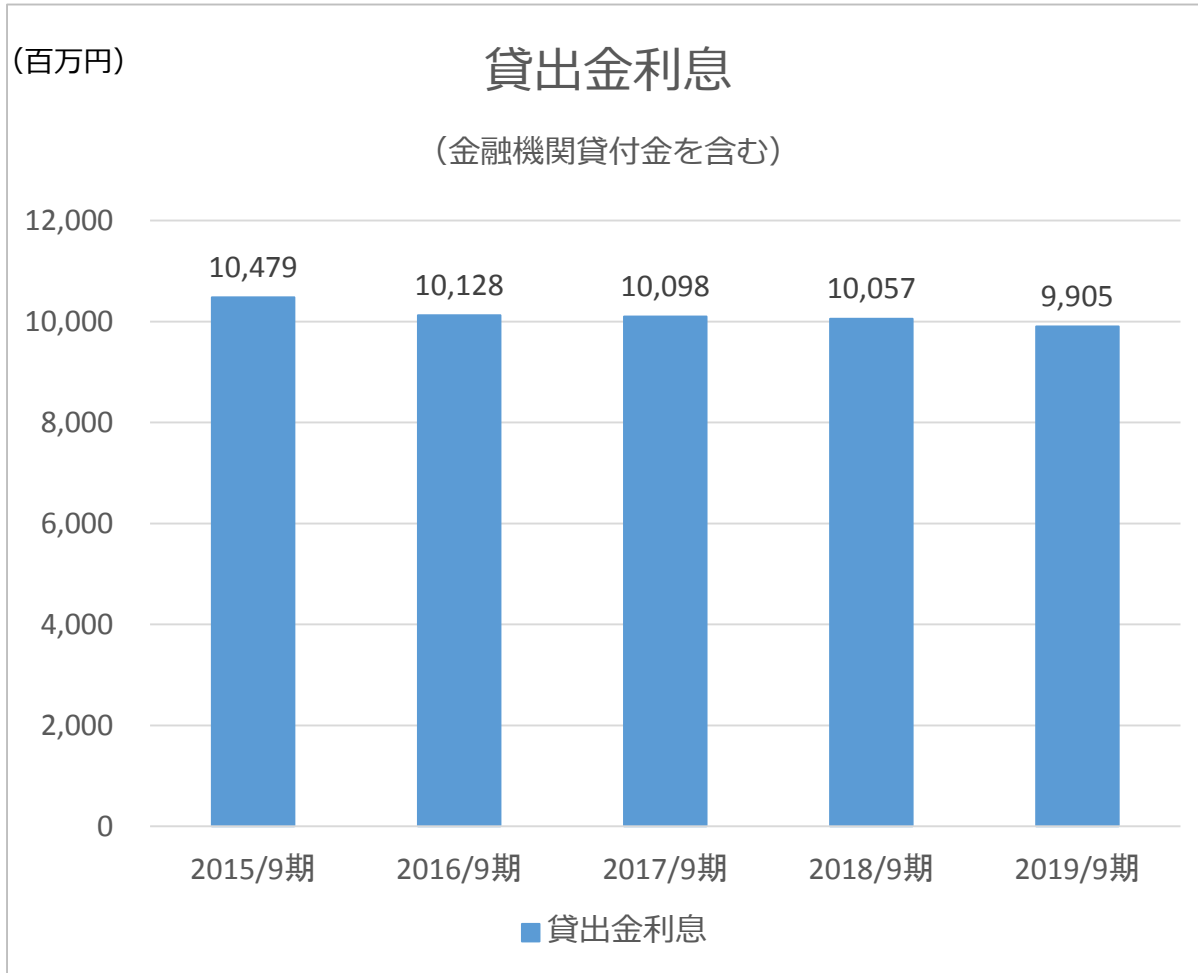
実質与信関係費用は、前年同期に引き続きマイナスとなりました。

売却益は増加しましたが、保有株式の減損処理を行いました。

中間純利益は上記要因により、9億円減少しました。

2. 資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）

2019年度中間期の貸出金利息は、事業性評価に基づいたソリューション営業やお客さま本位のコンサルティング営業を積極的に推進しました結果、平均残高は増加しましたが、超低金利政策の継続等により利回りが低下し、前年同期比1億円減少の99億円となりました。

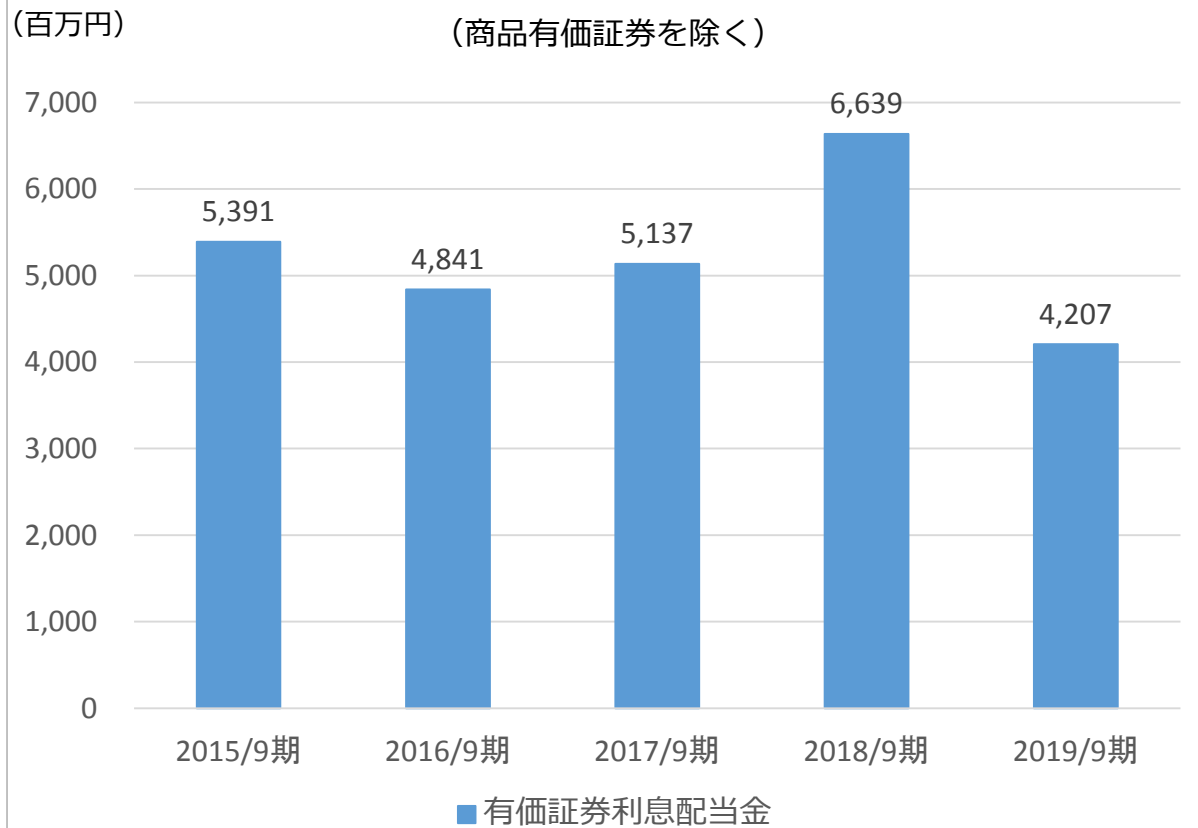


3. 資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）

2019年度中間期の有価証券利息配当金は、マイナス金利の環境の下、再投資抑制により平均残高が減少し、投資信託解約益の減少により利回りも低下したため、前年同期比24億円減少の42億円となりました。

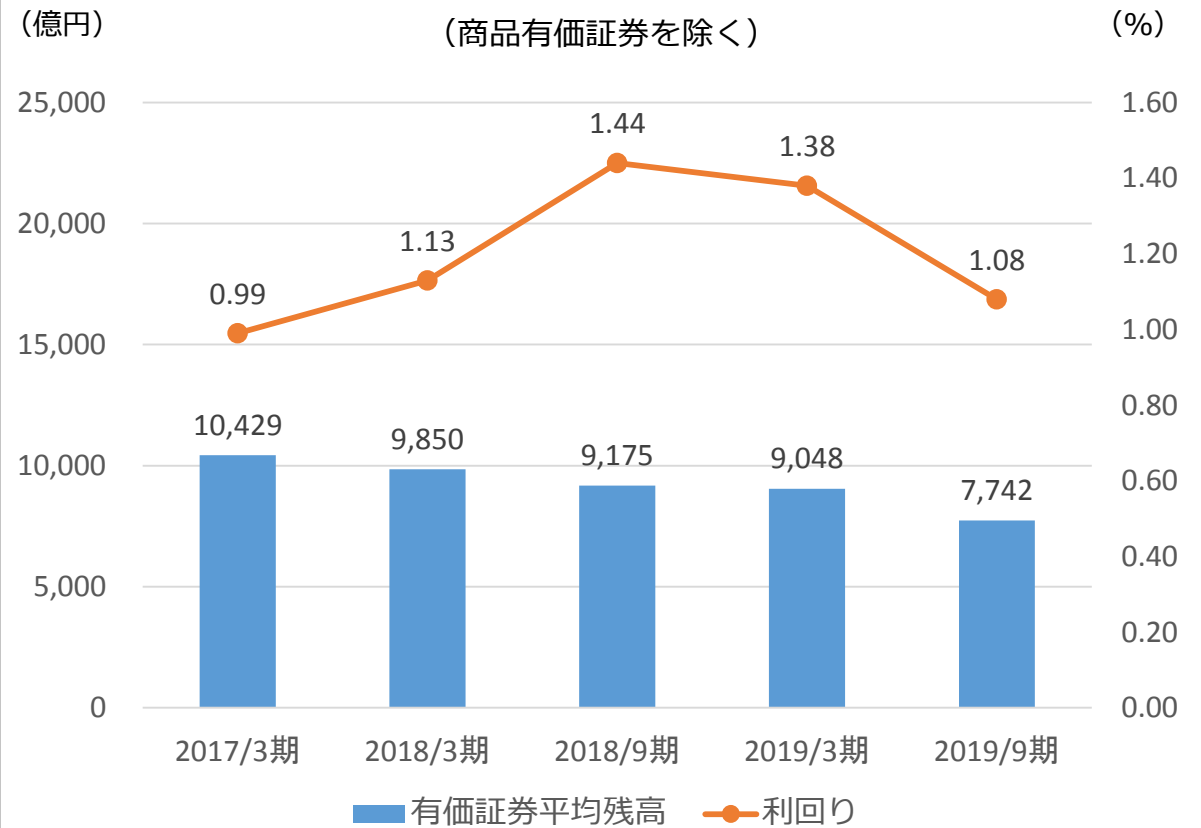
有価証券利息配当金

(商品有価証券を除く)



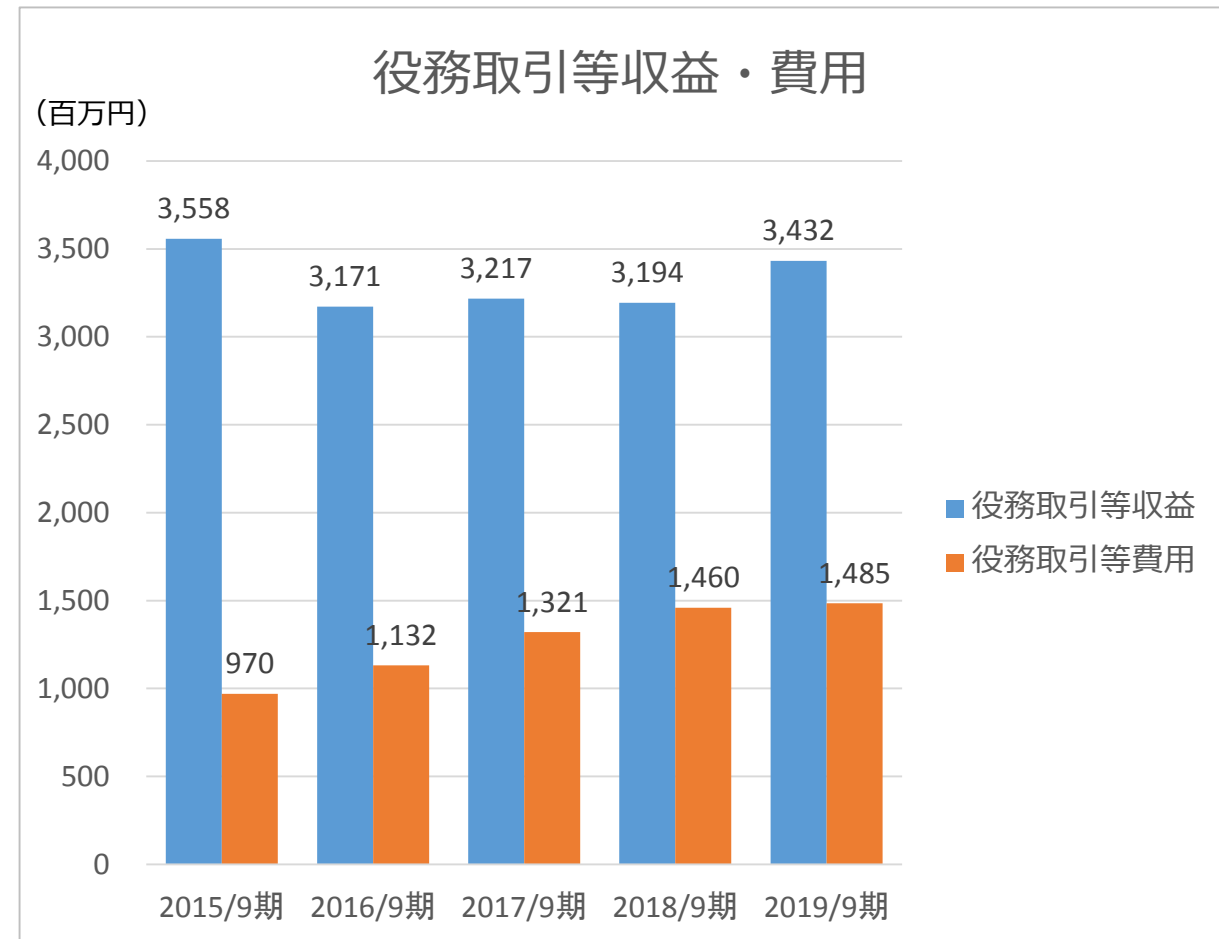
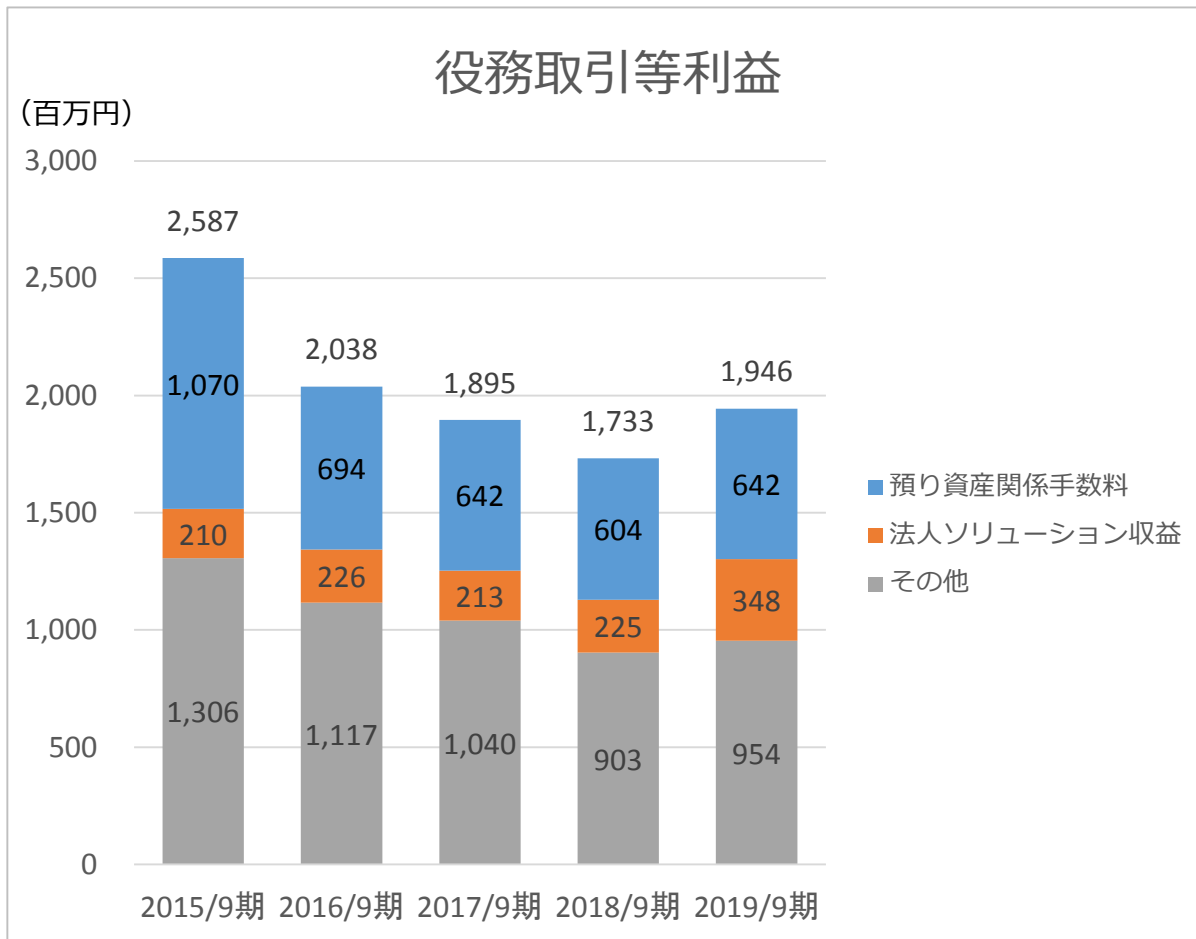
有価証券平均残高/利回り

(商品有価証券を除く)



4. 役務取引等利益（1）内訳

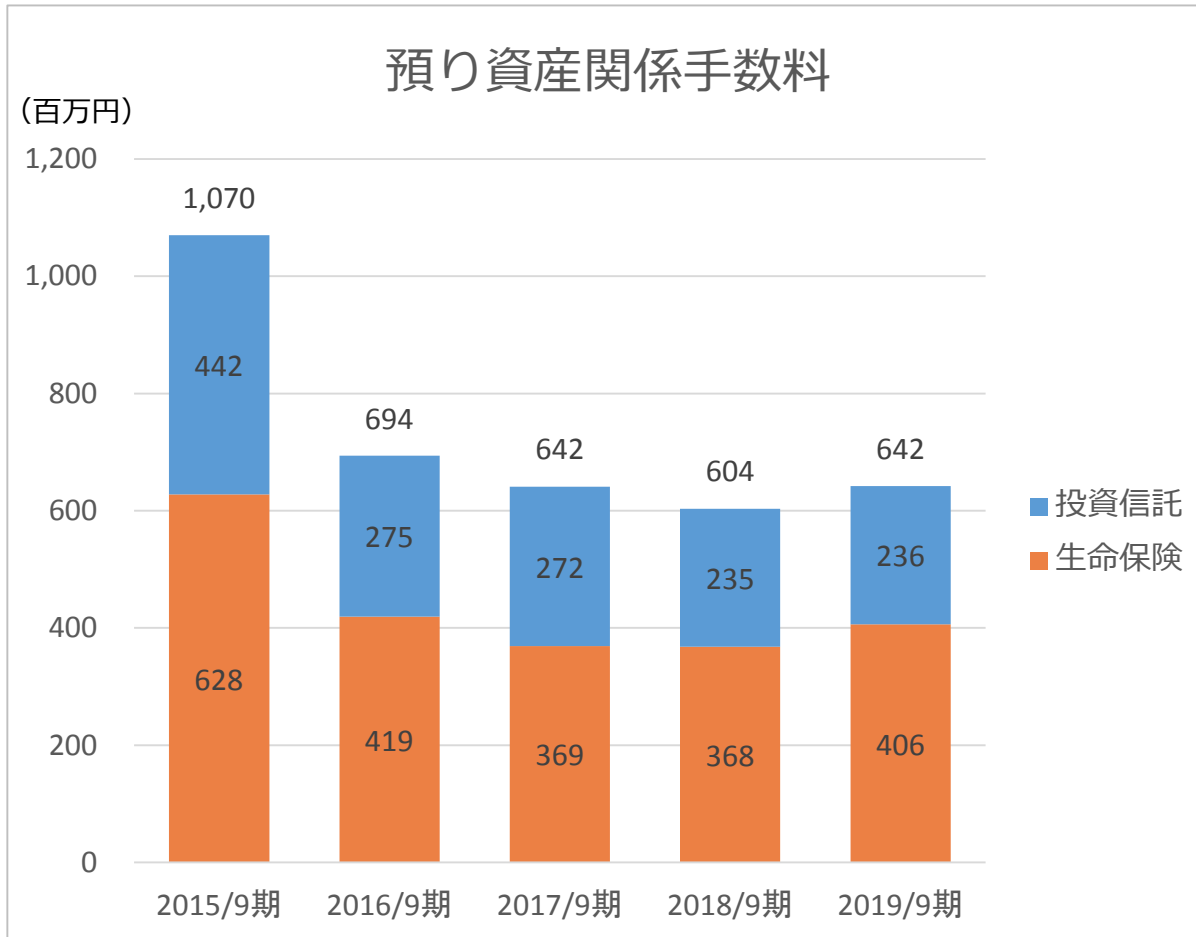
2019年度中間期の役務取引等利益は、個人ローン残高の増加に伴い、主として保証料や団体信用生命保険料などの役務取引等費用は増加しましたが、一方で、ビジネスコンサルティングや個人コンサルティングの強化に努めました結果、役務取引等収益が増加し、前年同期比2億円増加の19億円となりました。



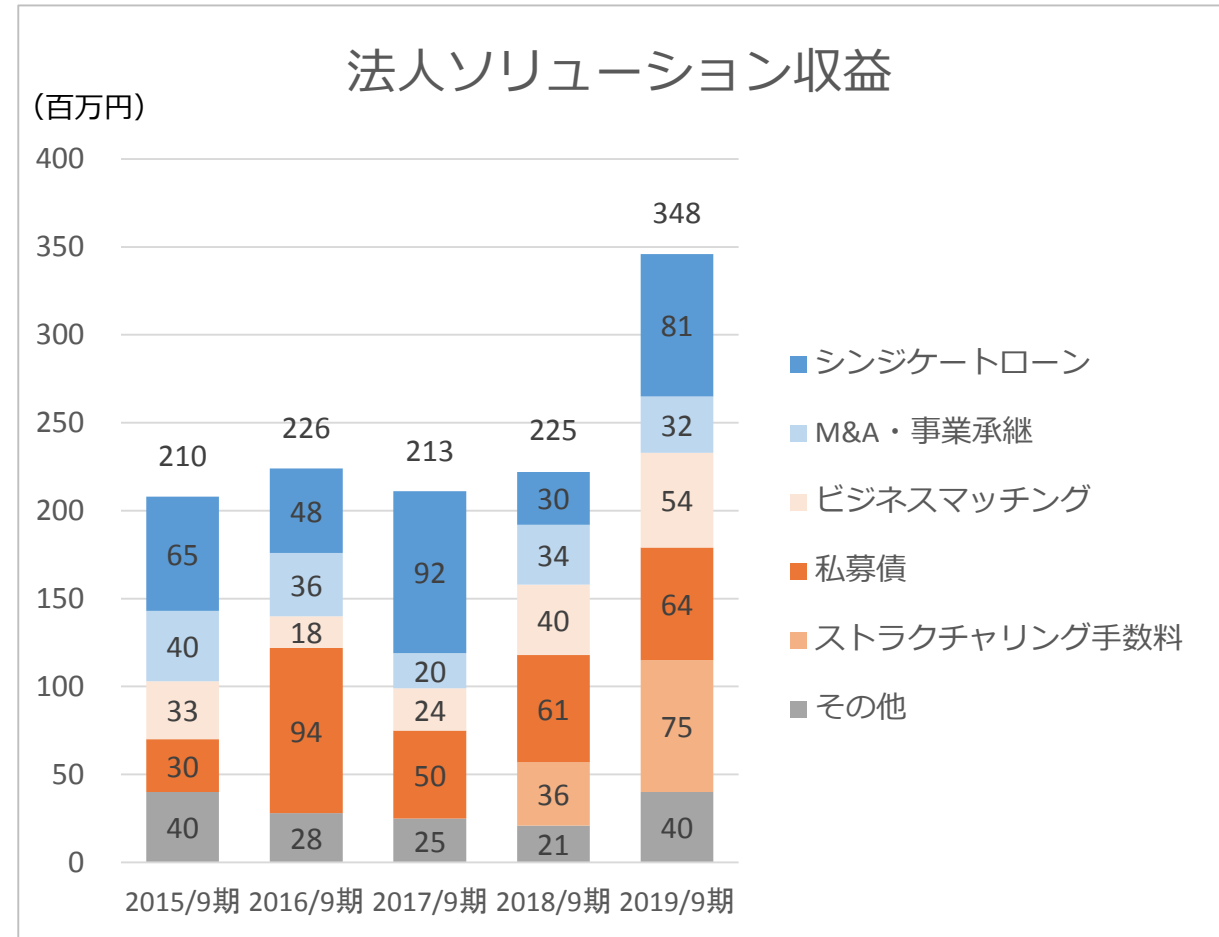
※「法人ソリューション収益」は管理会計ベースであります。

4. 役務取引等利益（2）預り資産関係手数料、法人ソリューション収益

お客さまの多様な資金運用ニーズに対応しました結果、投資信託・生命保険共に増加し、預り資産関係手数料は前年同期比0億円（38百万円）増加の6億円となりました。



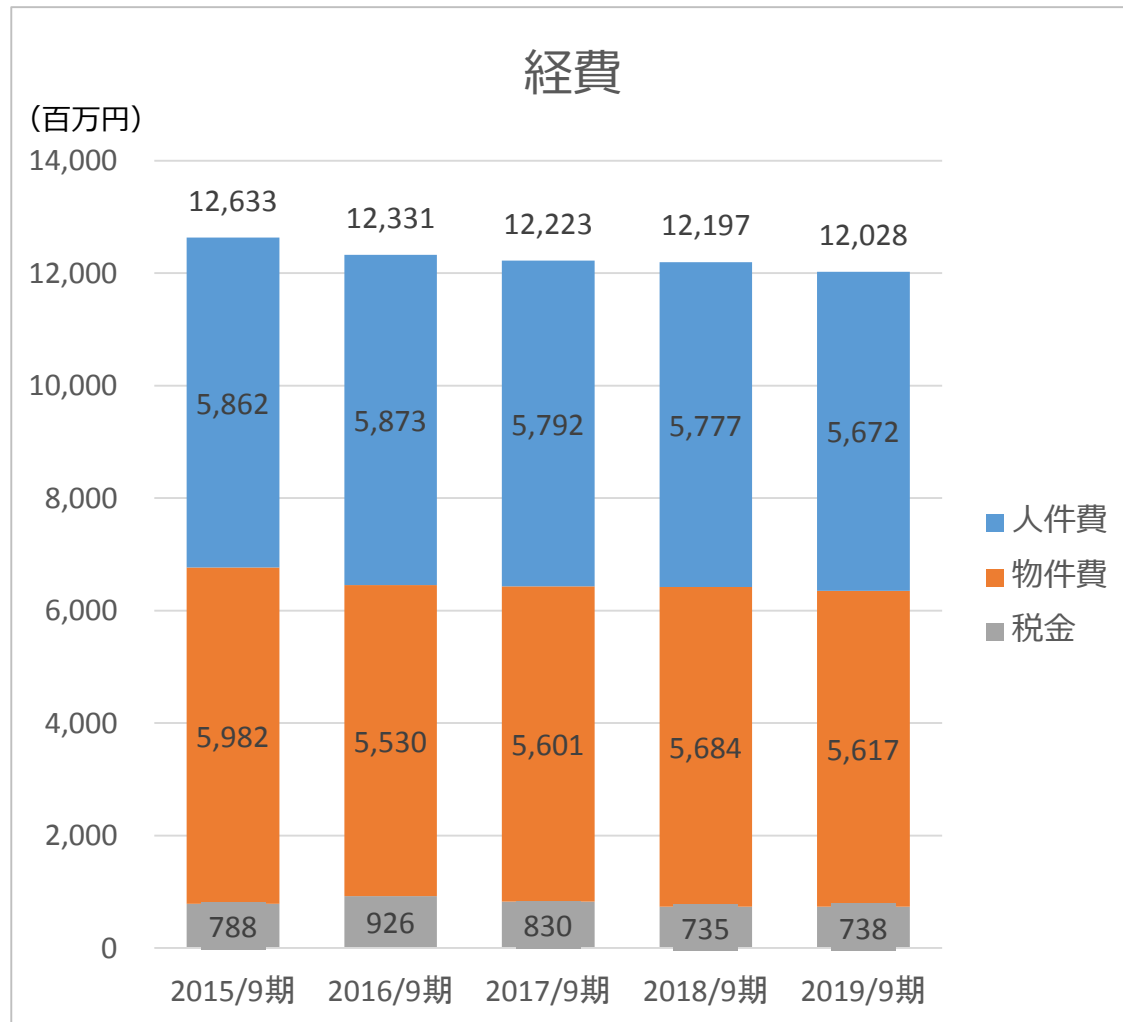
積極的なシンジケートローンへの取組みや、お客さまの多様な資金調達ニーズに対応したスキームを構築するストラクチャリング手数料等により、法人ソリューション収益は前年同期比1億円増加の3億円となりました。



※「法人ソリューション収益」は管理会計ベースであります。

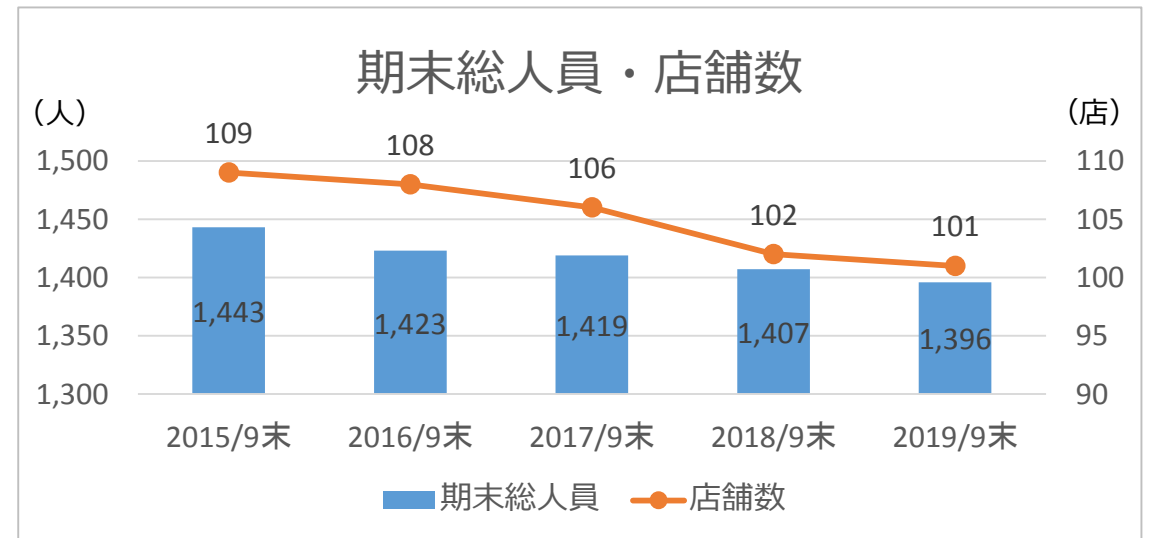
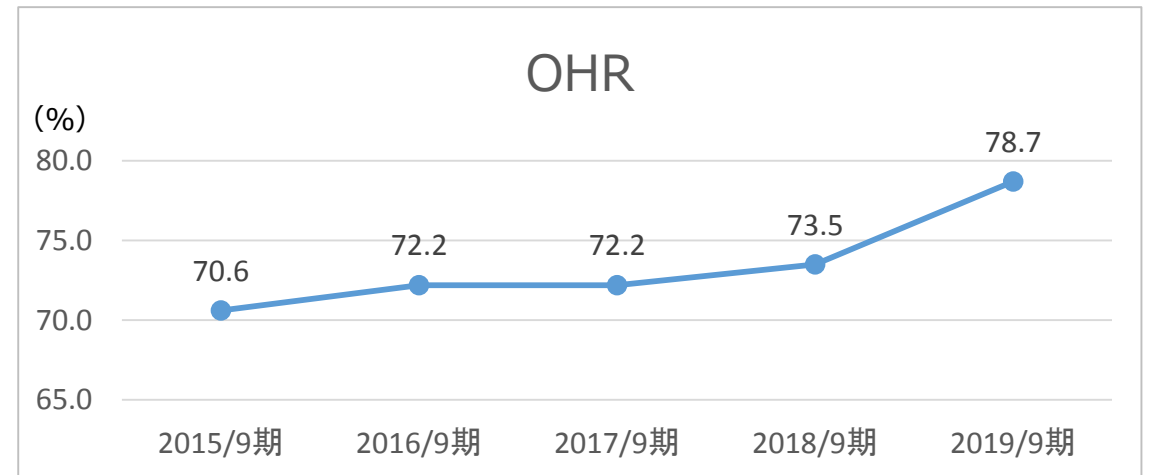
5. 経費及び経営効率

2019年度中間期の経費は、前年同期比1億円減少の120億円となりました。人件費・物件費共に減少し、効率化が図られています。



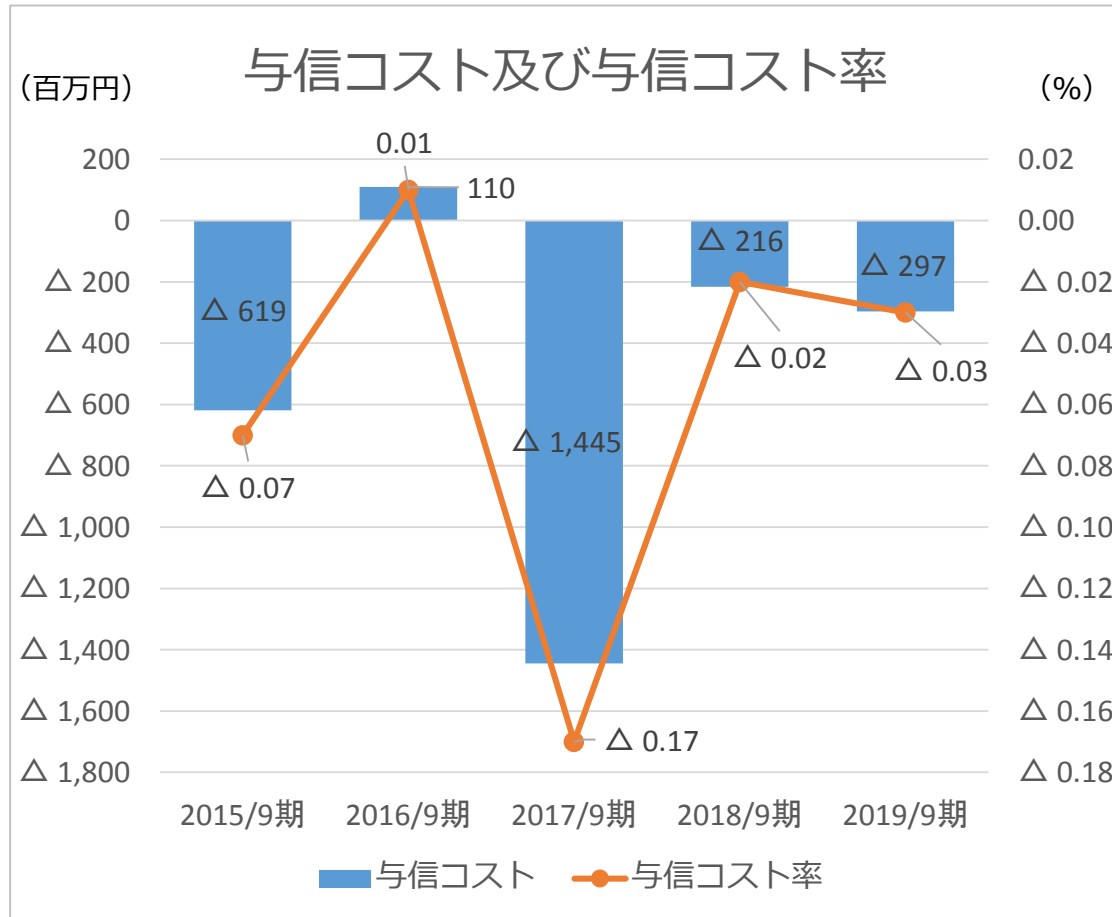
OHRとは、経費の業務粗利益に対する割合を表したものです。

2019年度中間期は、経費は減少しましたが業務粗利益も減少し、前年同期比5.2ポイント上昇の78.7%となりました。



6. 与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益

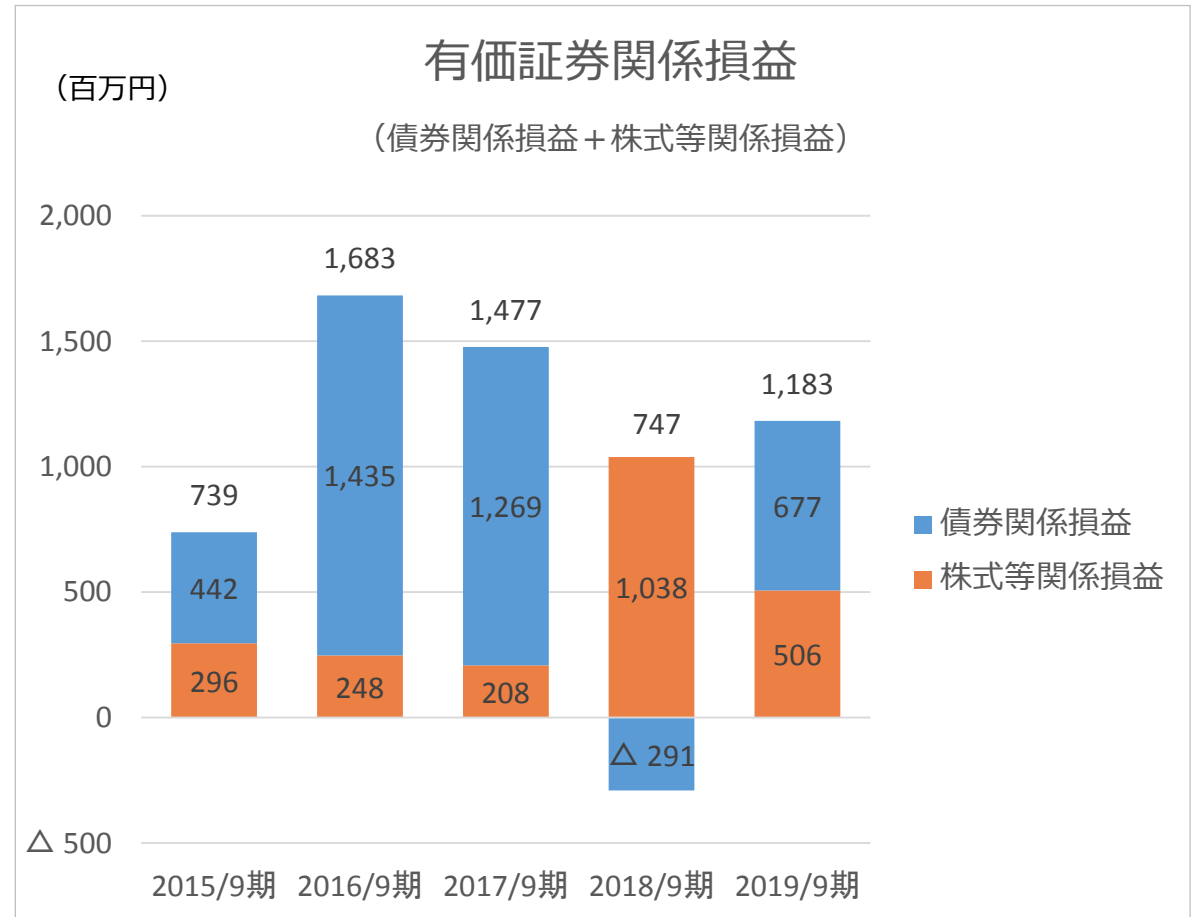
2019年度中間期の与信コスト（=実質与信関係費用）は前年同期と同程度の2億円のマイナスとなりました。与信コスト率も $\Delta 0.03\%$ となり、前年同期の $\Delta 0.02\%$ から0.01ポイント低下しました。



2019年度中間期の有価証券関係損益は、株式等関係損益は減少しましたが、債券関係損益が前年同期の損失から大幅に改善したことにより、前年同期比4億円増加の11億円となりました。

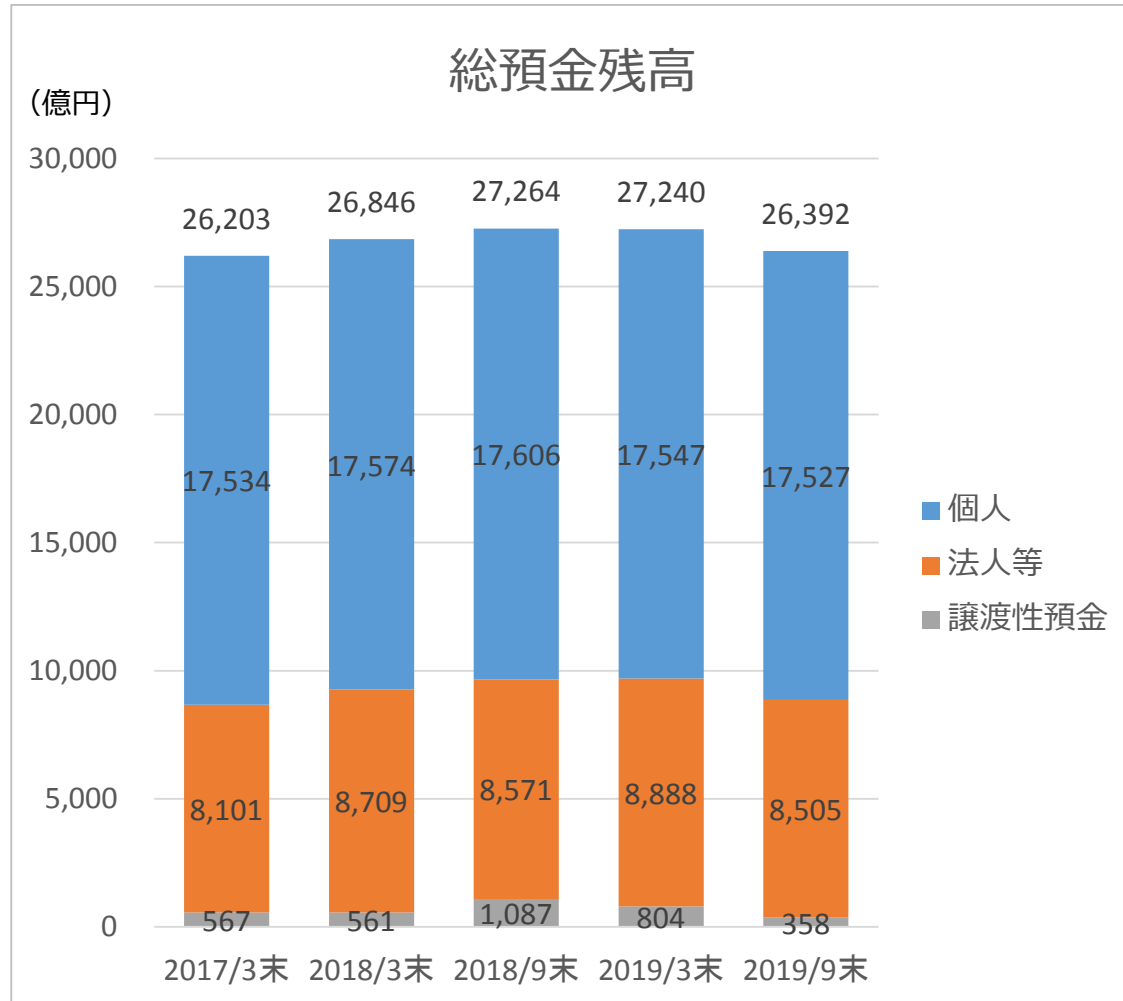
*債券関係損益 = 売却益 + 償還益 - 売却損 - 償還損 - 償却

*株式等関係損益 = 売却益 - 売却損 - 償却

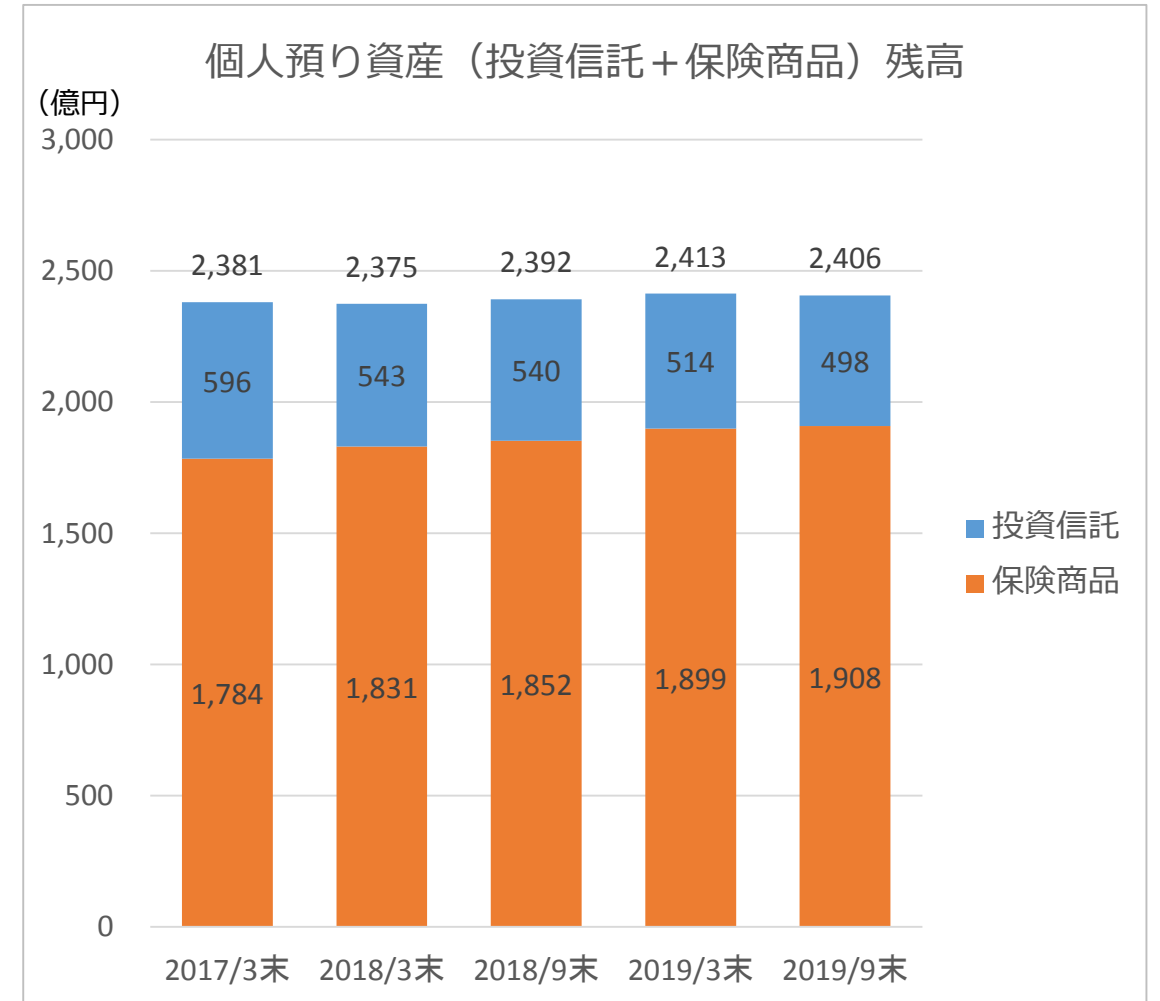


7. 総預金及び個人預り資産残高

2019年9月末の総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金・法人等預金・譲渡性預金がそれぞれ減少し、前年同期末比872億円減少の2兆6,392億円となりました。前年度末比では848億円減少しております。



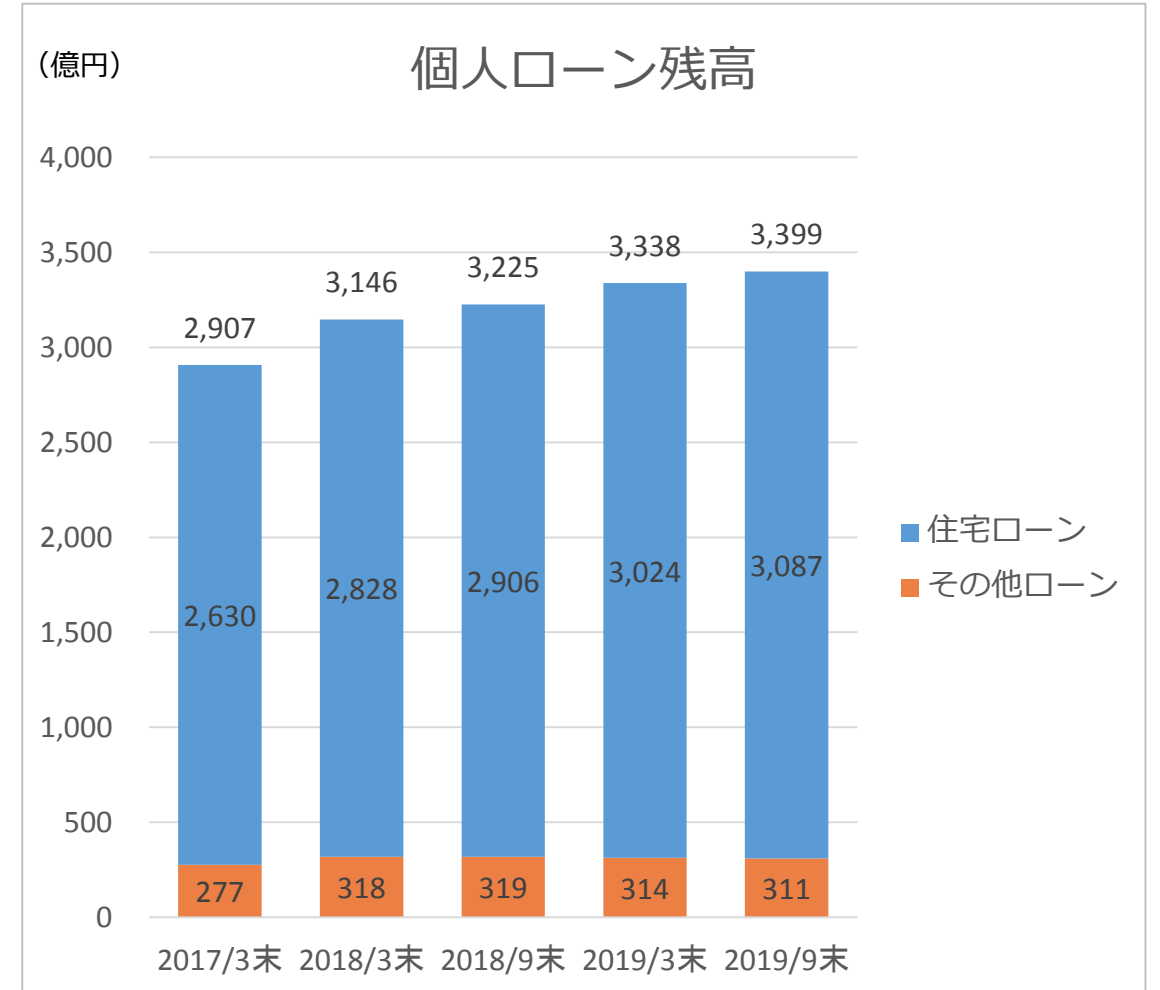
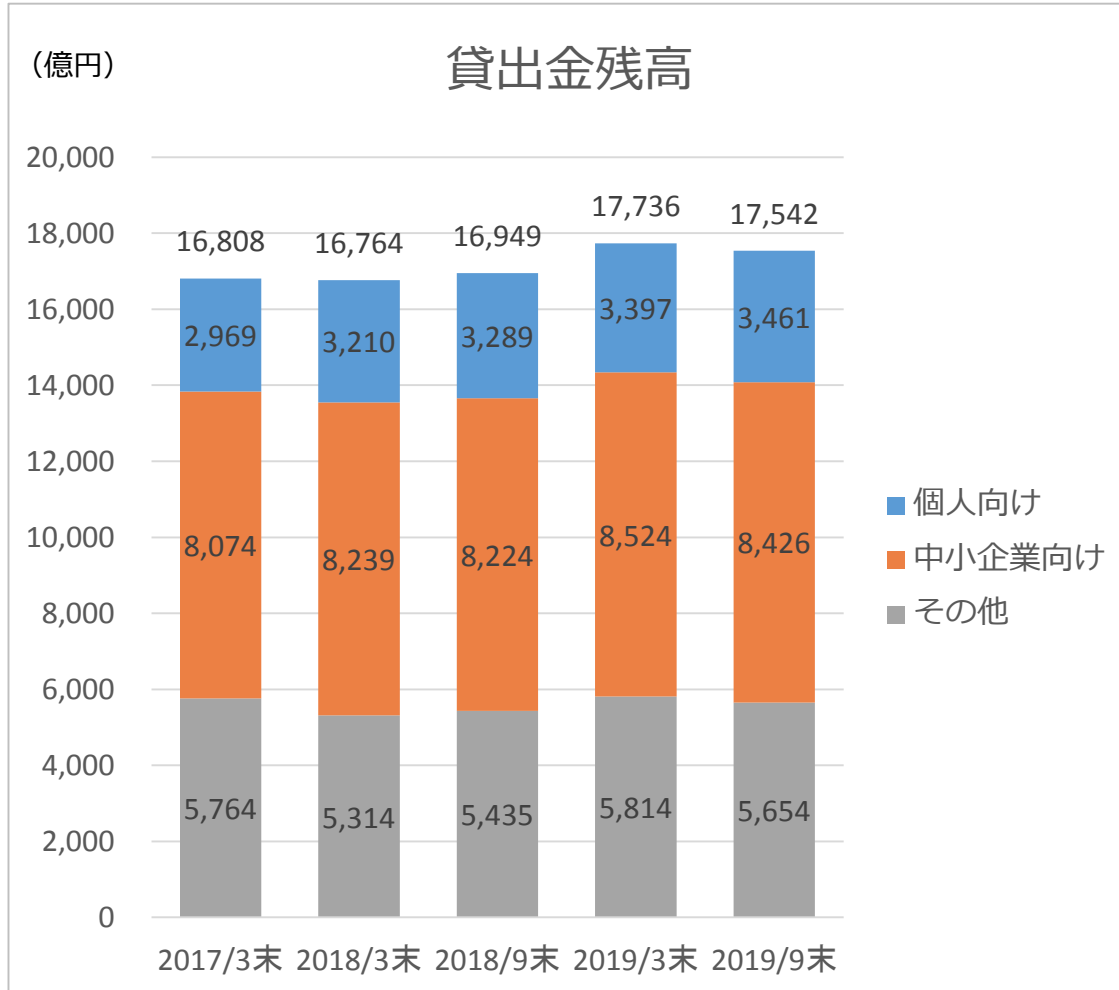
2019年9月末の個人預り資産（投資信託+保険商品）は、お客さまの多様な資金運用ニーズに対応しました結果、投資信託は減少しましたが保険商品（個人年金保険等）が増加し、前年同期末比14億円増加の2,406億円となりました。前年度末比では7億円減少しております。



8. 貸出金残高及び個人ローン残高

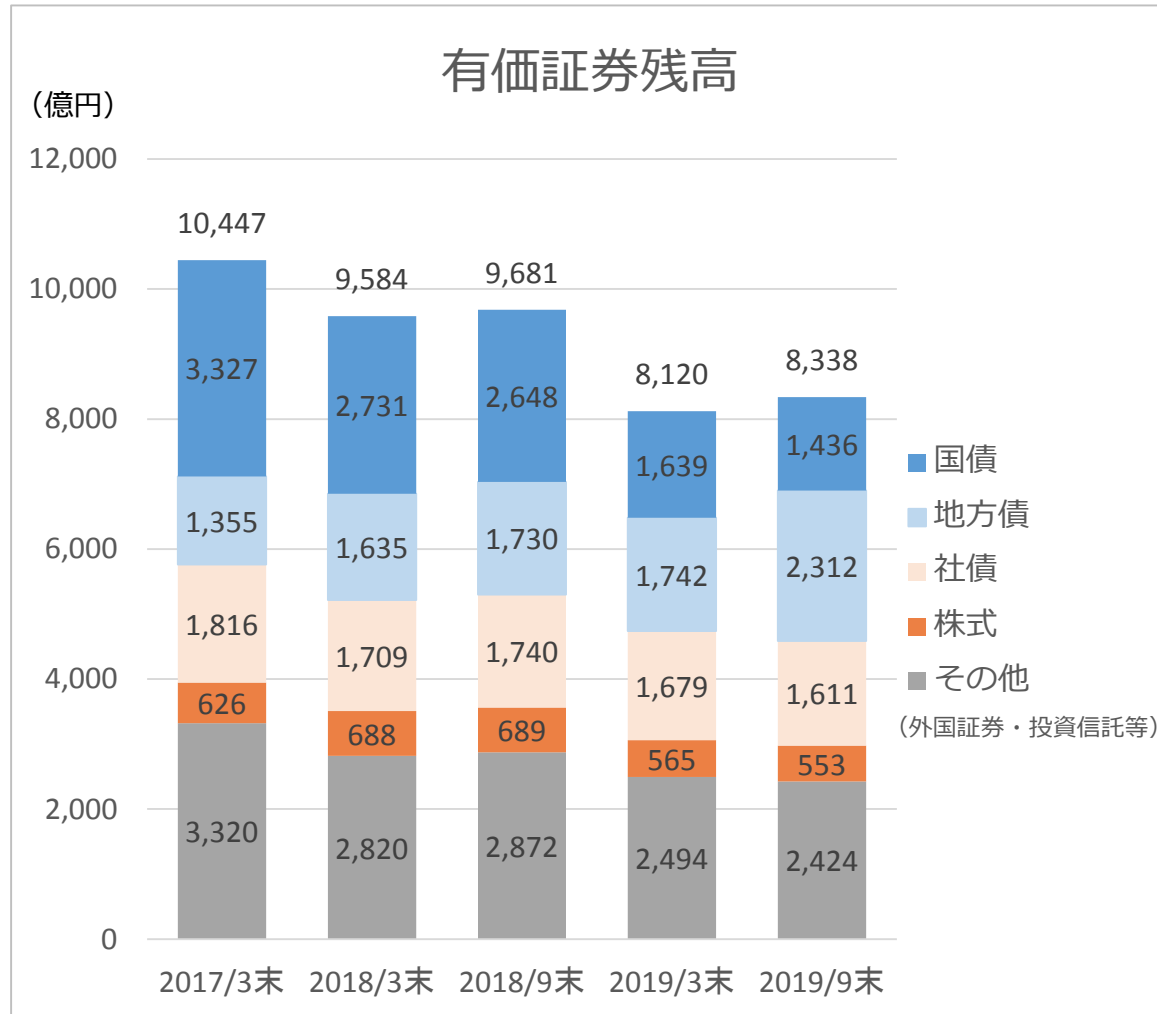
2019年9月末の貸出金は、中小企業向け・個人向け融資を積極的に推進しました結果、個人向け・中小企業向け・その他がそれぞれ増加し、前年同期末比593億円増加の1兆7,542億円となりました。前年度末比では194億円減少しております。

個人ローンは、四国4県に拠点を置くローンプラザを中心に推進し、前年同期末比174億円増加の3,399億円となりました。前年度末比では61億円増加しております。

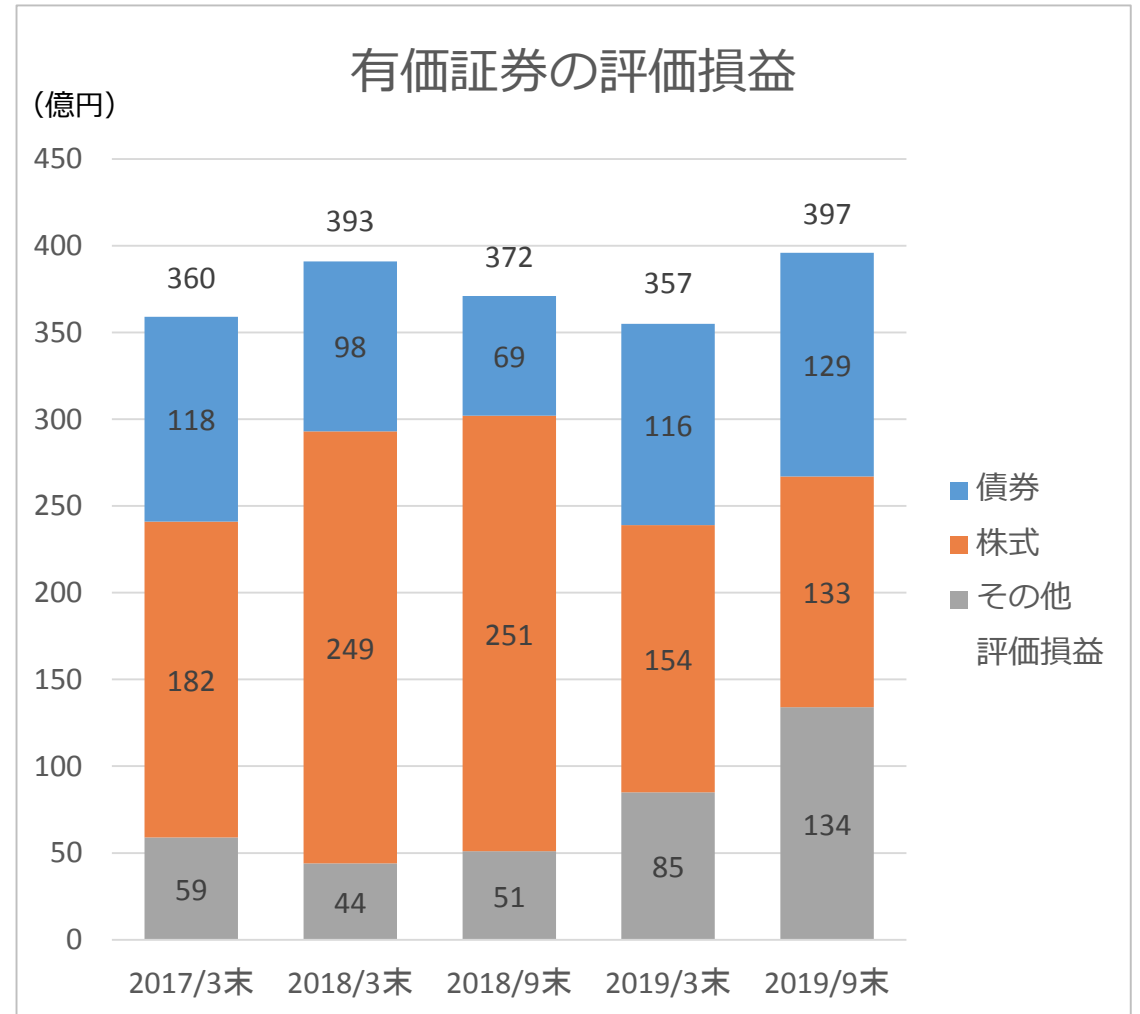


9. 有価証券残高・評価損益

2019年9月末の有価証券残高は、マイナス金利政策の継続による厳しい投資環境のなか、再投資の抑制等により、前年同期末比1,343億円減少の8,338億円となりました。前年度末比では218億円増加しております。

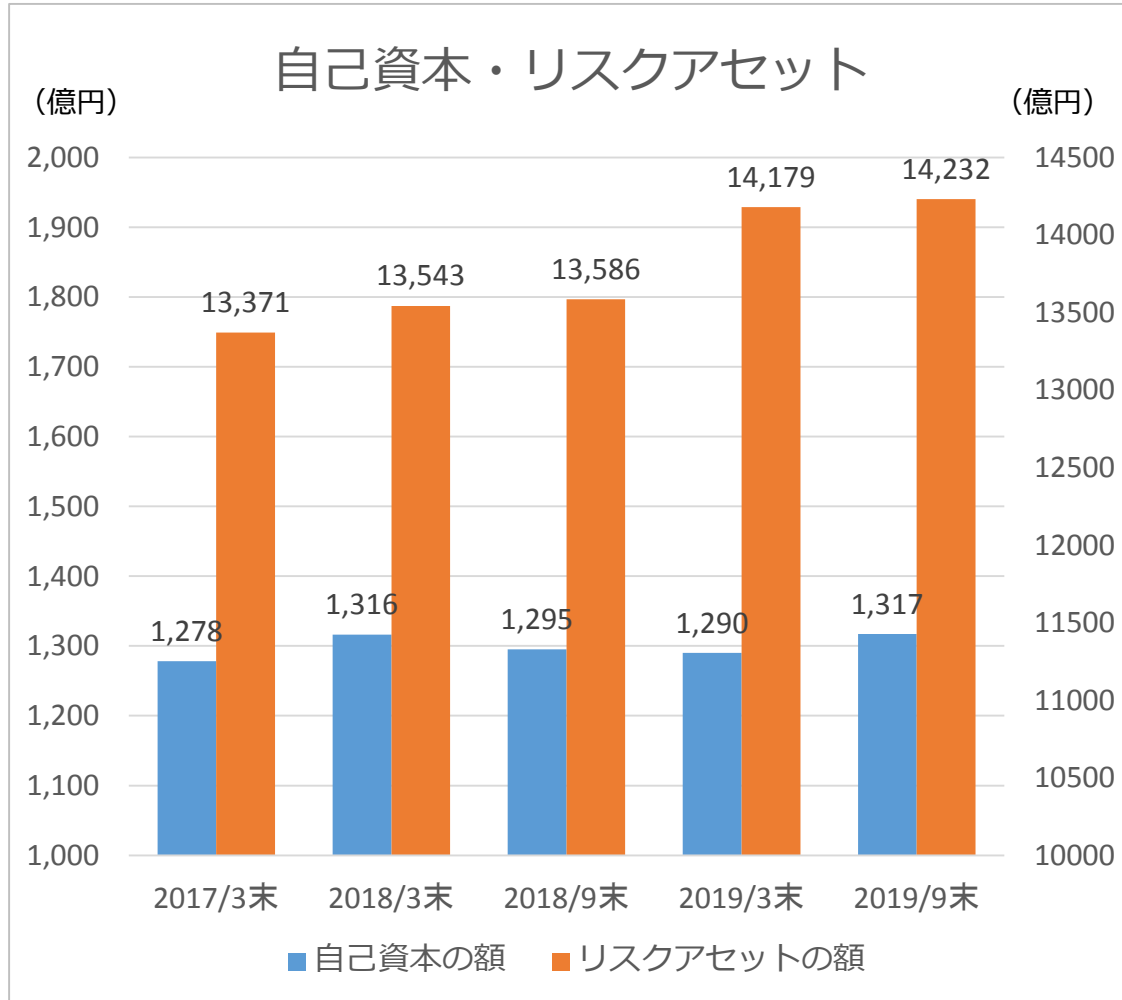


2019年9月末の有価証券の評価損益（含み損益に相当）は、株式の評価益は減少しましたが債券・その他の評価益が増加し、前年同期末比25億円増加の397億円となりました。前年度末比では40億円増加しております。

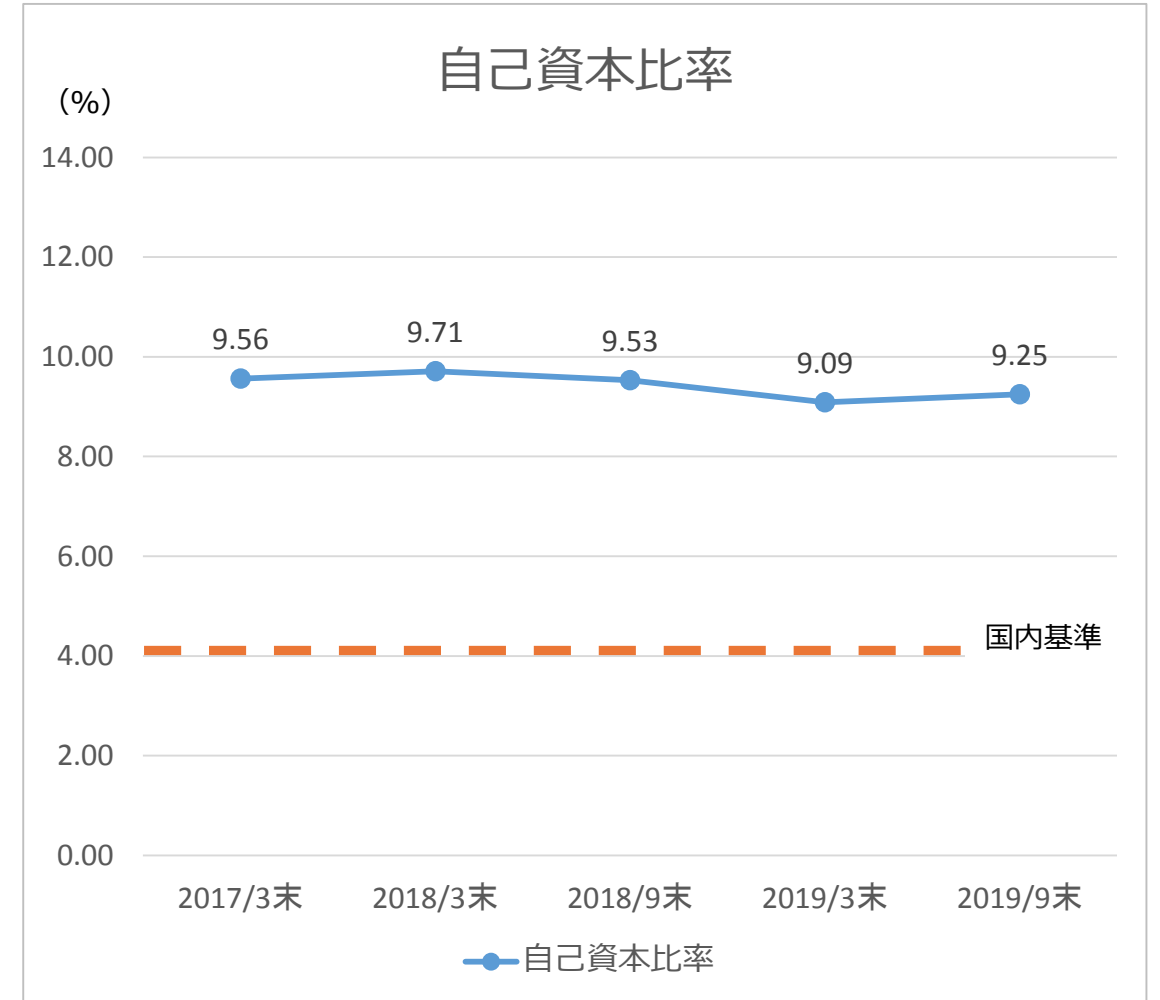


10. 自己資本比率

2019年9月末の自己資本の額は、利益剰余金の増加等により、前年度末比27億円増加の1,317億円となりました。また、リスクアセットの額は、有価証券の増加等により、前年度末比53億円増加の1兆4,232億円となりました。



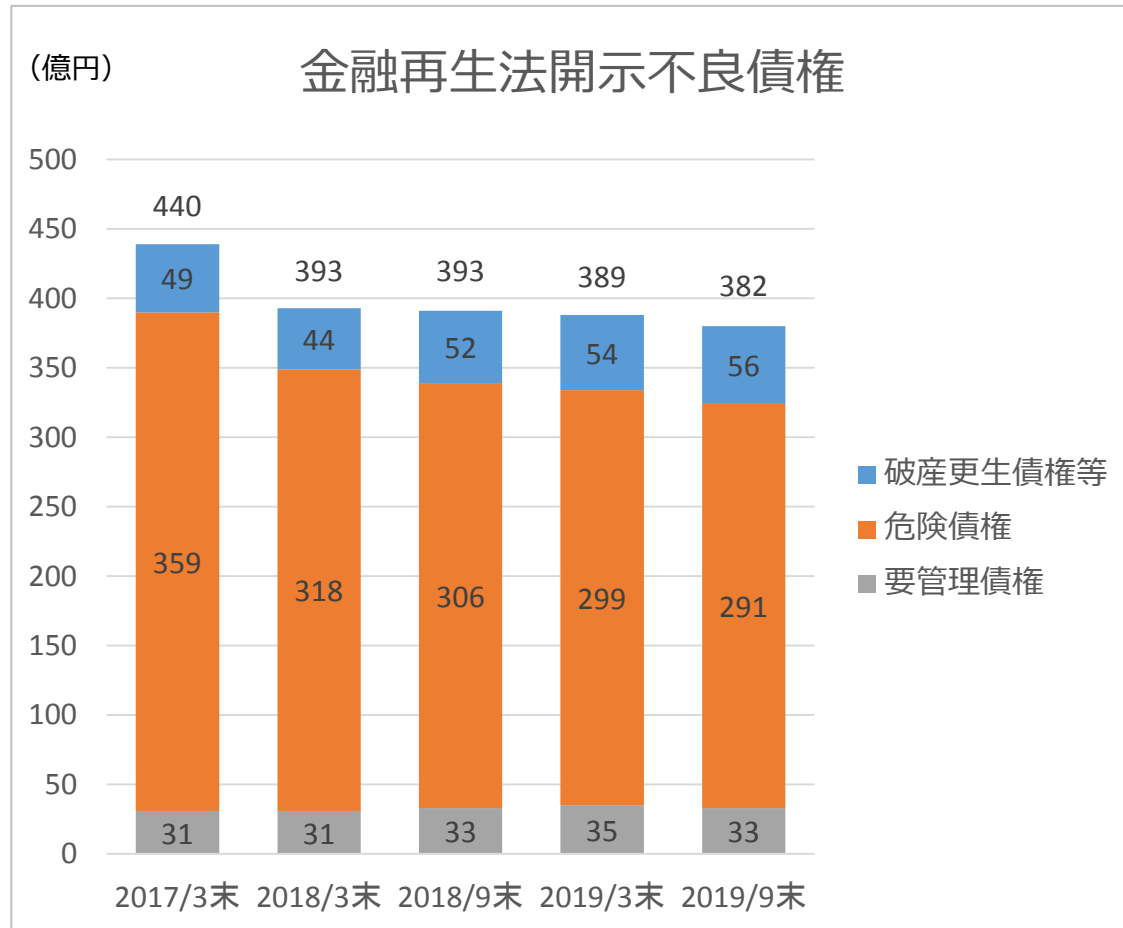
自己資本比率は、左記要因により、前年度末比0.16ポイント上昇し9.25%となりました。国内基準行に求められる4%以上の基準を上回っております。



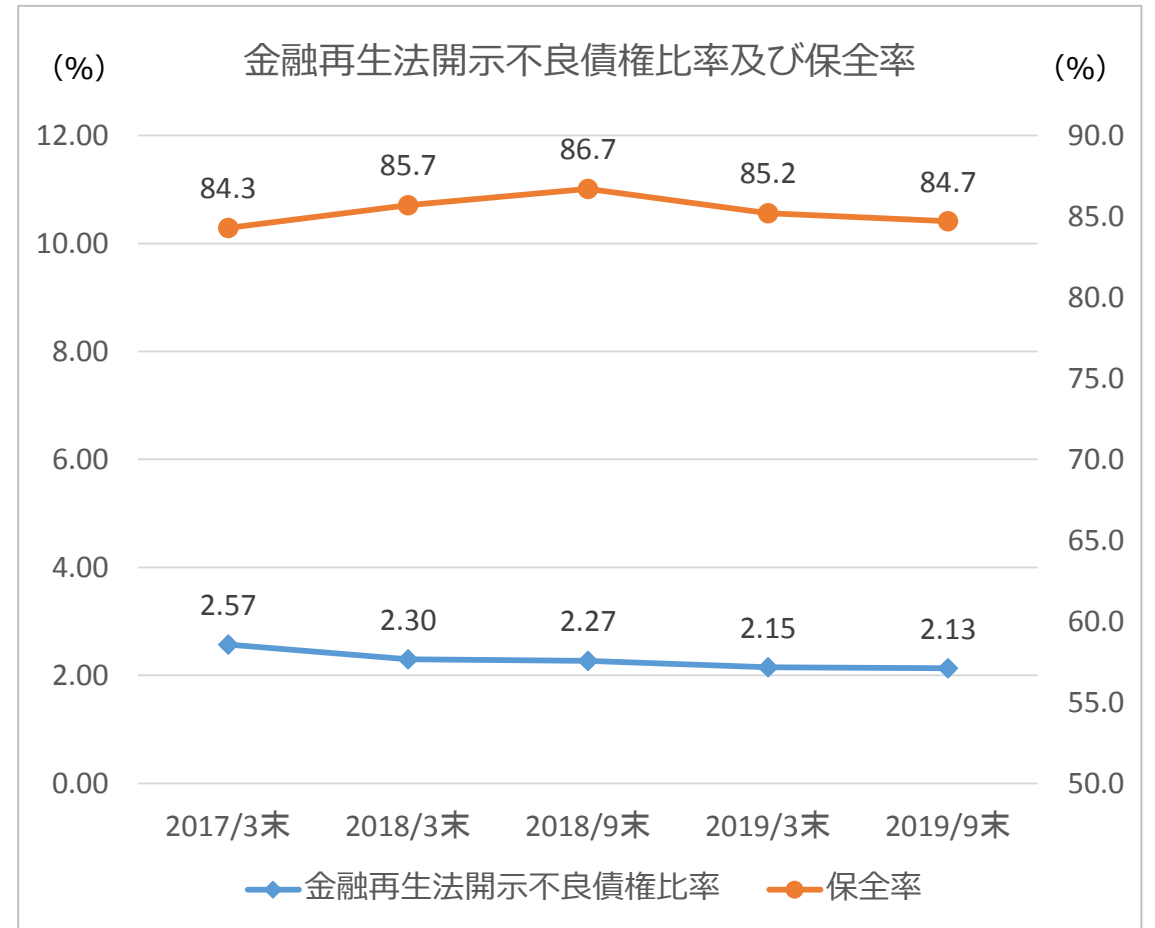
1 1. 不良債権の状況

2019年9月末の金融再生法に基づく開示不良債権の総額は、貸出先の経営改善支援に努めましたこと等から、前年度末比7億円減少の382億円となりました。

* 不良債権総額 = 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 + 危険債権 + 要管理債権



金融再生法開示不良債権比率は、開示不良債権額が減少し、前年度末比0.02ポイント低下の2.13%となりました。また、不良債権が貸倒引当金や担保・保証によりカバーされている割合を表す保全率は84.7%と、引き続き十分な水準を確保しております。



1 2. 2019年度業績予想

単体の2019年度通期業績は、中間期の業績が当初予想を上回りましたが、今後の市場環境や経済情勢の見通しが不透明であることから、現時点においては2019年5月13日公表の予想数値を据え置き、経常収益393億円、経常利益51億円、当期純利益40億円を予想しております。

(単位：億円)

	2018年度実績	2019年度予想	実績比
経常収益	454	393	△ 61
業務粗利益	324	289	△ 35
資金利益	296	251	△ 45
役務取引等利益	39	38	△ 1
その他業務利益	△ 12	0	12
(うち国債等債券関係損益)	△ 8	5	13
経費	243	242	△ 1
実質業務純益	81	46	△ 35
実質与信関係費用	4	2	△ 2
経常利益	95	51	△ 44
当期純利益	63	40	△ 23

1 3. 2019年度の取組み（4月～9月）

お客さまへの取組み

- 教育機関寄付型私募債「学び応援債～未来への絆～」の引受件数が100件を突破（5月）
- 法人オーナー・経営者等の次世代への円滑な事業承継をサポートするため、「事業承継セミナー」を開催（7月）
- お客さまの資産形成を支援するため「コツコツ&ワクワクよくばり新時代キャンペーン」実施（7月～2020年1月）
- お客さまの東南アジアを中心とした海外展開を支援するため、高知県シンガポール事務所に行員を派遣（7月）
- 株式会社SBI証券とインターネットを通じた金融商品仲介サービスを開始（8月）
- その他、四国アライアンス4行共同で各種セミナー開催（次ページ「四国アライアンスの取組み」参照）

地方創生への取組み

- 若手経営者、後継者等を対象とした第6期「四銀経営塾」を開講（塾生22名、第5期までの卒業生121名）（4月）
- クラウドファンディングを活用して、地元の老舗料亭などを支援（5月、7月）
- 小学生を対象に<しぎん>お金のセミナー（7月）開催
- 子供たちに社会の仕組みに関心を持ってもらうため、仮想のまち「とさっ子タウン」に、「とさっ子銀行」を出店（8月）
- 【高知県観光活性化ファンド】投資先である株式会社ものべみらいへ2人目の行員を派遣し、地域経済活性化を積極支援（8月）
- 【しぎん地域活性化ファンド】を活用して老舗観光ホテルの事業承継を支援（9月）

デジタルを活用したコンサルティングの強化

- 四国アライアンス共同で、AIを活用したビジネスマッチングの実証実験を開始（6月）
- フィンクロス・パートナーシップ参加行と協働で、金融商品の購入を希望されるお客さまニーズの把握や、資産形成に関する情報提供強化を目的に、AIを活用した金融商品レコメンドシステムを開発（8月、導入は2020年1月）
- フィンクロス・パートナーシップに、きらぼし銀行が参加し8行連携体制に（9月）



四国アライアンスの取組み

四国の地方銀行4行（当行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行）による「四国アライアンス」では、今年度においても四国創生に向けた様々な施策に取り組んでいます。 *件数・金額は9月末現在

<四国アライアンスキャピタル株式会社の活用>

4行出資のファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル株式会社」は、運営するファンドにおいて、これまで16件・38億円の投資がなされるなど、お客さまの事業承継・成長、再生支援等に取り組んでいます。

<運営ファンド>

しこく中小企業
支援ファンド
(企業再生)

しこく創生ファンド
(事業承継・成長等)

しこくエネルギー
ファンド
(新エネルギー)

16件・38億円の投資実行

<ビジネスマッチングの活性化>

4行のネットワークを活かして、お客さま同士をつなぐビジネスマッチングに積極的に取り組み、紹介件数・成約件数とも順調に増加しています。

紹介件数 : **2,992件**

成約件数 : **850件**

精度の高い情報提供により成約率向上を目指します

<その他の取組み>

- 「カードで巡る！おトクな四国キャンペーン」実施（4月～9月）
- 「産業振興セミナー ～ITを活用した生産性向上～」開催（5月）
- 「VISIT JAPAN Travel Mart 2019 -EAST ASIA-」へのブース出展（6月）
- 4行シンクタンクによる「新時代における遍路受入態勢のあり方～遍路宿泊施設の現状・課題等調査～」報告書発行（6月）
- 「BCP策定セミナー」開催（7月）
- 合同研修会（次世代リーダー・女性リーダー）開催（7月～）
- 「インドネシア ビジネスマッチングセミナー&相談会」開催（8月）

「四国地区 ハイウェイ大商談会」開催(7月)

- ・ NEXCO西日本と連携し、四国及び近隣のサービスエリアを運営するテナント22社と販路拡大したいお客さま73社にご参加いただきました。
- ・ 商談会により、延べ37件の商談成約につながり、お客さまの販路拡大支援に取り組むことができました。

